

第24回

# 木のある暮らし

# 木のある暮らし

にゅう せん  
**入選**  
さく ひん しゅう  
**作品集**



■ 主催：  一般社団法人 **日本木造住宅産業協会** ■ 共催：  **住宅金融支援機構**  
Japan Housing Finance Agency

■ 後援：国土交通省・文部科学省・農林水産省・環境省・外務省・朝日学生新聞社



# ごあいさつ

一般社団法人日本木造住宅産業協会 作文コンクールは、今年で二十四回目を迎えることが出来ました。小学生を対象に、日常生活の中にある身近な「木」を題材として「木のある暮らし」をテーマに実施しており、作文を通じて木や森、そして環境のことに興味を抱いてほしいという我々の思いが込められています。

この一年十カ月あまり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、日々の生活にも様々な変化がありました。学校生活では、臨時休校や分散登校など慣れないこともあったと思います。オンライン学習を初めて経験した人もいるでしょう。夏休みになっても家族旅行に行けなかったり、田舎のおじいちゃん、おばあちゃんに会いに行くのを我慢したりする日々が続いたことと思います。そのような状況でも、日本全国九六五校の小学校と特別支援学校七校、海外からも五か国六校の日本人学校を通じて、合計六、〇八五作品の応募をいただきました。多くの素晴らしい作品に支えられ無事にこの作品集の発刊が出来ましたのも、ひとえに、ご指導をいただいた先生方はじめ、保護者、関係者の皆様のご支援があったることと感謝いたしており、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

近年、木の良さが見直され、住宅だけでなく大型建築物にも木材が使用されるようになりました。「木のある暮らし」は多岐に亘り、応募作品の中には単に木の持つ効果・効能だけでなく、人や社会に与える影響をつづった作品も増えてきました。また、木を通して、家族や友人との繋がりを感じたり、長寿の樹から歴史や先人の想いを学んだりするなど、小学生とは思えない豊かな表現力と純粋な視点に驚き、心を打たれました。どの作品も個性にあふれて素晴らしく、原稿用紙に向かつて一生懸命書いている皆さんの姿が浮かびました。審査員の先生方も受賞作品を選ぶのに頭を悩ませておられました。この作品集で紹介できるのは全六、〇八五作品の中のほんの一部です。受賞作を公表できる喜びを感じる反面、素晴らしい応募作品のすべてを掲載できないことが残念です。

多くの作品に描かれているように、木は人にやさしい素材です。木は再生可能な資源であり、その成長過程で地球温暖化の要因となる二酸化炭素を吸収し、酸素を供給してくれます。木を植えて、育てて、伐って、また植えてといった循環をつくることで、地球環境の保全と持続可能な社会の実現に寄与し、自然災害の規模の拡大を防ぐことができます。

今を生きる私たちは、人がいつまでも木や自然に感謝し寄り添って生きる未来を残していかなければなりません。引き続き、当協会は木の住まいを通じて地球環境を保全し、そして、「木のある暮らし」を次世代に伝えていくことをお約束いたします。

最後になりましたが、本コンクールにご後援をいただきました国土交通省、文科科学省、農林水産省、環境省、外務省、住宅金融支援機構、朝日学生新聞社ならびに教育委員会をはじめとする学校関係の方々、コンクール実施にご尽力いただいた関係各位に重ねて御礼申し上げます。

令和三年十月吉日

一般社団法人 日本木造住宅産業協会

会長 市川 晃





第24回

木のあそびくらし





# 受賞者一覧



## 国土交通大臣賞

低学年の部

「ひいおじいちゃんをつくったいえ」

千葉県 田中 波音さん

高学年の部

大工さんに教わったこと

愛媛県 矢野 有花さん



## 文部科学大臣賞

低学年の部

二本のうめの木

鹿児島県 高津 渚紗さん

高学年の部

木がつなぐ素敵な未来

千葉県 松本 美春さん



## 農林水産大臣賞



低学年の部

「ぼくのさくらんぼの木」

福井県 福田 将大さん

高学年の部

見えない力

千葉県 杉野 愛梨さん

## 環境大臣賞

低学年の部

どんぐりの木

東京都 園田 愛花さん

高学年の部

「保全活動を通して私が学んだこと」

滋賀県 谷澤 あかりさん

## 外務大臣賞

低学年の部

お父さんは木工職人

秋田県 石川 真衣さん

高学年の部

東京オリンピックと日本の木

海外(ベトナム) 浜野 七海さん

## 住宅金融支援機構理事長賞

低学年の部

まきストーブのある暮らし

兵庫県 石野 心晴さん

高学年の部

家族を見守る大きな木

東京都 黒部 優菜さん



## 日本木造住宅産業協会会長賞



低学年の部

ヒマラヤスギの木

京都府 園 理香子さん

高学年の部

ビワの木

埼玉県 阿部 心咲さん

## 朝日小学生新聞賞

低学年の部

おとうさんのくつ下の木くず

兵庫県 坂本 陽菜さん

高学年の部

心地よい響きとは

福岡県 小田 孝太郎さん



## 審査員特別賞

低学年の部

「もものき」

福島県 渡邊 彰人さん

高学年の部

大切にしたい ぼくらの校庭

千葉県 小寺 慎之助さん

高学年の部

帯広の森「はぐく一む」

北海道 佐々木 優都さん



## 東北ブロック

### ケヤキ賞

低学年の部

わたしのいえ

福島県 鈴木 穂香さん

### ケヤキ賞

高学年の部

わたしの木の家

福島県 谷中 ころろさん



## 北信越ブロック

### マツ賞

低学年の部

わたしとおばあちゃんのかきの木

福井県 清水 杏珠さん

### シラカバ賞

高学年の部

皆で作った木の遊び場  
ツリーハウス！

長野県 塚田 莉奈さん

## 中部ブロック

### 神宮スギ賞

低学年の部

わたしの家

三重県 玉木 心結さん

### ハナノキ賞

高学年の部

お父さんと木の家具

愛知県 加藤 淳さん

## 北海道ブロック

### エゾマツ賞

低学年の部

木と私たちとのかかわり

北海道 笹谷 栞さん

### エゾマツ賞

高学年の部

季節を感じる楽しい校庭

北海道 隈本 香凜さん

## 関東ブロック

### イチョウ賞

低学年の部

「きもちをつなぐ木」

東京都 木村 涼花さん

### クロマツ賞

高学年の部

日本の木造建築

群馬県 天田 有紀さん

## 甲・静岡ブロック

### モクセイ賞

低学年の部

木の名前しりとり

静岡県 近藤 穂乃花さん

### モクセイ賞

高学年の部

オリーブの木にこめた  
平和への願い

静岡県 原 緋奈乃さん

## 四国ブロック

やまもも賞 低学年の部

ふしぎなたけ  
徳島県 多田 紗耶加さん

マツ賞 高学年の部

時代をこえて  
愛媛県 近松 叶さん

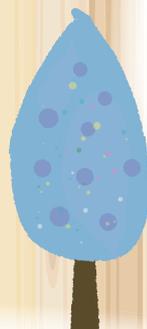
## 近畿ブロック

ウバメガシ賞 低学年の部

私と木のかかわり  
和歌山県 石井 香流さん

クスノキ賞 高学年の部

「音のゆくえ」  
兵庫県 宮崎 純大さん



## 中国・九州・沖縄ブロック

アカマツ賞 低学年の部 木のあるしごととおとうさん 岡山県 矢野 みやびさん

つつじ賞 高学年の部 私の宝物 福岡県 竹田 舞子さん

## 団体の部

最優秀団体賞 福島県 矢吹町立矢吹小学校

優秀団体賞 富山県 富山市立上条小学校  
奈良県 橿原市立畝傍南小学校  
北海道 江別市立対雁小学校  
千葉県 栄町立竜角寺台小学校

学校のプールの木  
秋田県 鎌田 夏帆さん

やわらかい木のテーブル  
福井県 島田 晴生さん

「ぼくたちの紙」  
神奈川県 新倉 将希さん

大阪府 茨木市立玉島小学校の11名の皆さん

僕の木の家  
東京都 照内 悠太さん

木のくらし  
東京都 新村 響希さん

木とセミと私  
東京都 栴田 夏帆さん

## 特別賞

## 佳作

### 低学年の部

木は、みんなのいえ

ドイツ連邦共和国 井上 湊大 さん

もちまきをしたよ

鹿児島県 奥山 賢人 さん

木のぬくもり

熊本県 菊田 銀之介 さん

わたしの家のこと

福島県 岸 眞悠子 さん

ぼくのあいぼう

埼玉県 倉林 祐助 さん

わたしのパパは大工さん

鹿児島県 木場崎 叶灯 さん

「大すきな木」

岡山県 小見山 岳琉 さん

さくらの木って、いいな

長野県 佐邊 想祐 さん

おじいちゃんの大切な木

茨城県 高木 駿 さん

そ父母の家の大切なかしの木

福島県 長峯 和賀子 さん

わたしも見つけない

鹿児島県 比良 優月 さん

「わたしのひみつの木のお家」

京都府 藤田 心葉 さん

わたしの町の木について

鹿児島県 山下 梨夏 さん

大きなユズリハ

茨城県 渡邊 莉咲 さん

### 高学年の部

「ひこばえ」

佐賀県 江頭 和佳 さん

カウリの木と縄文杉のご神木

ニュージーランド 大野 泰輝 さん

笑顔のにおい

千葉県 金澤 心和 さん

元気になる割りばし

愛媛県 河野 晴哉 さん

おばあちゃんの家の香り

和歌山県 佐藤 愛美 さん

未来に繋ぎたい桜の木

山形県 柴田 凜 さん

木は二度生きる

千葉県 菅谷 歩叶 さん

「背くらべの木」

福島県 瀧田 和奏 さん

いらっしゃいの香り

佐賀県 武富 悠真 さん

木のあるくらし

福島県 長沼 優杜 さん

三千年前の大きな柱

福島県 中野 未来 さん

おじいちゃんの木の家

福井県 淵上 克 さん

ご先祖様からのメッセージ

群馬県 星野 真子 さん

ぼくのつくえ

群馬県 諸田 旺雅 さん

わたしの三味線

広島県 山崎 杏 さん





千葉県 田中 波音さん

# 「ひいおじいちゃんをつくったいえ」

「ひいおじいちゃんをつくったいえ」  
 私には、ひいおじいちゃんがなく、残念いえが  
 あります。ふだんはだれもすんでいないけれど、  
 ど、まい年、お正月にかぞくで行きます。お  
 ばあちゃんには「きたないいえであまりすきで  
 はない」といって、いるけれど、私は大すきで  
 す。  
 そのいえは、大工のひいおじいちゃんがつ  
 くれたいえです。にんじややしきのようなが  
 くしとびらがあって、ひいおじいちゃんの大  
 エどうぐや、おじいちゃんがつくりをした  
 くぎをいれる木のはこや、木のますなどたか  
 らものがたくさんできてます。  
 そのいえには木のはしらがたくさんあつて  
 木のいえではできないはしらのほりであそび  
 ます。かくれんぼもしました。そして、へや  
 の上に木のきれいなもようがあります。「ら  
 んま」というのだとおじいちゃんがおしえて  
 くれました。にあで木のほりをしたり私のあ

きに入りひみつきちです。  
 だげと今年のおぎいそのいえをちゅうし  
 じょうにするこにりました。まわりは大  
 きなマンションがたくさんあって、「かいは  
 つ」をするからとわれしました。なつ休みに  
 いえがなくなるさいごのきねんに、おじいち  
 ちゃんとそのいえに行きました。「ほんしんだ  
 いしんたい」がおきたときもわれなかつた  
 いえで、「ひいおじいちゃんとおばあちゃん  
 にかひねんしてたいえだとおじいちゃんか  
 かなしもうにいりました。私もなんだかた  
 しくなりました。  
 「もうすてるから」とおじいちゃんがい  
 うと、しんせきがきて、おばあちゃんの下あ  
 りどうぐの、「きり」のダンスや、私がいつも  
 あそんでいた木のはこなどを、てい、とし  
 まいました。いろいろなものがたくさんあ  
 ったおうちですが、もうなにもありません。し  
 んせきからは、「こんないいものありがどう  
 。木でできたものはじょうぶだからうれしい

」とおれいはいわれました。おじいちゃんか  
 「木はながくつかえて、こんどは新しい人の  
 とろでまたくらすんだよ。あたらしいもち  
 主が見つかってしあわせだよ」と言っていました。  
 私は、自分があそんでいたものがなくな  
 ったほんとうはくやしいけれど、大すきない  
 とこのお姉ちゃんがよくて、いけるのでよか  
 ったと思います。  
 今、私のうちには、ひいおじいちゃんがい  
 えからも、てかえてきた木の長もちがあり  
 ます。長もちの中に私の大好きな本やたから  
 ものをいれています。私の新しいひみつきち  
 です。今どは私がたせつにつか。ていくばん  
 です。私かとお姉さんにな。それからも  
 っとなつて、次はいもうとや、私の子ども  
 にわたしてあげられたらいいな。ガラスやプラ  
 スチックとちがつて木はじょうぶです。だか  
 らこそ大じにしたいし、あたたかくて、ひい  
 おじいちゃんのおはなしを思い出す木ででき  
 たものが、私は一ばん大すきです。



愛媛県

矢野

有花さん

# 大工さんに教わったこと

大工さんに教わったこと

矢野 有花

私がこの家に住み始めて、五年が経ちます。私は保育園の年長のときに、川之江に引っ越ししてきました。それまでいっしょに遊んでいたようち園の友達と、はなればなれになるのは、とてもさみしかったです。でも、自分たちの新しい家ができてはうれしくて、とても楽しかったです。

家が建ち始めると、休みの日に家族で、家を見に行きました。建てている中の家は、木の香りがいい感じがしました。あちこちに、長い柱や太い柱、細い柱があって、家を作るためには、こんなたくさんの木がいるんだとおどろきました。木のけずりかすは、さわるときさらさらしていて、気持ち良かったです。覚えていてください。

私の家を建ててくれた大工さんは、とてもやさしい人でした。家を建てていたのは夏だったのですが、いつも暑い中、あせを流しな

から作業をしていました。そして、私たちが行くとき、仕事の手を止めて、いろいろな話をしてくれました。弟が、たくさん積んである木に興味を持って、木をさわっているとき、大工さんが、「ちょっと待ってよ。」

と言って、木のはしっこ部分を小さく切って積み木を作ってくれました。少し長い積み木、短い積み木、いろいろな積み木があって、私も弟もよろこびました。積み木からも、木のいい香りがして、私たちにあって、特別な積み木になりました。

他にも大工さんは、「ここに置いて。」と言って、私たち家族を階段さんになるところに呼ぶと、太い柱を指さして、「この柱は、太くてじょうぶな柱だよ。この柱に、家族みんなの名前を記念に書くといいよ。」と言って、名前を書かせてくれました。家が

完成した今は、柱は見えませんが、でも、自分たちが名前を書いた柱があると思うと、なんだかうれしい気持ちになります。

大工さんとお会いしたとき、私はまだ保育園の年長でした。今は小学校の五年生。あのときは分からなかったけど、今、思うことがたくさんあります。大工さんがやさしかったこと、いつも一生けん命、お仕事をしていたこと、そして、大工さんから学んだこともあります。それは、どんなことでも、どんな風にするか。どう取り組むか。ということが大切だということ。自分のするべきことをたどるのではなく、相手の気持ちを考えて相手のよろこぶことができたらいいなと思います。

私は、木のぬくもりと、大工さんのやさしさがつまみ、自分の家が好きです。私も周りの人を幸せな気持ちにできる人になりたいです。そして、またいつの日か、あの大工さんに会いたいです。



鹿児島県 高津 渚紗さん

# 二本のうめの木

二本のうめの木

「今年もうめの実、たくさんなってるか。」  
と、たね子島のばあばが三月ごろになると毎年電話をかけてきます。

あたしのわには、大きな二本のうめの木がならんで立っています。そのうめの木は、百才くらい年をとっています。木のききには、こげや植物が生えていて、ざあるとかわがわがポロポロ落ちてきます。近所のおじいちゃんか

ここに家をたてた時もこの二本の木はあつて、よくうめをもらっていたそうです。二本あるうちの一本はみき外少したおれて、ねじれていきます。でもたくさんの実をつけてくれます。わたしは、その実を使つてうめぼしやうめ酒やうめジャムを作っています。わたしは、こしてくる前に仕込んでいた人たちも、このうめの実でうめ酒やうめぼしを作っていたそうです。昔からこの二本のうめの木は、ずっと同じ場所にあつて、未来はどんな人

たち実をとりにくるのだからと考えています。そしてそれ外今、あたしたちなので。昔と同じようにうめ仕事をしています。

ばあばは、うめをとる事をとても楽しみにしています。うめぼしを作るときは、さきこにおいしいです。とくに、はんといって、に食べると何ほいでも食べられます。食べるとうめぼしをお友だちにあげたり、じいのおべん当に入れるそうです。少しつかれた時は、温かいお茶にうめぼしを入れて、ほしてついでにのむそうです。

「あなた元気がでるのよ。」  
と言っています。わたしもおやつに自分で作つてのうめぼしを食べます。

昔は実外なる木がある家はゆたかだ、人が集まると言われていたそうです。動物たちもたくさん遊びに来ます。いつもうめの木には、すずめかたくさんとまっています。そのほかにモキリギリスヤセミなどの昆虫もたくさん

人来ています。あたしはいつとまよから、すずめさんたちは何をしているのだからとワクワクしながら見えています。木の下に草がたくさん生えているので、うめの木はくすくす、たかないのかとも思っています。ハツタも元気に伸びています。風がふいている時は、みんないしよにおび、ているようにも見えます。

この木の下にはいるとみんな自分勝手な顔になりおこる人はいません。妹が傘をさして、スキップしながらうめの木にやつて来たたり、

ばあばもニコニコしながらうめぼしをかぶつてやつたりしています。うめの木が、元氣になるまぼしを付けているのかもしれない。

このうめの木があるおみんなの生活と心が、しあわせになります。あたしに家族ができて、このうめの実でうめ仕事をつづけていきたいと思つています。

うめの木さん、未来に来た人があたしでよかったですか。



高学年の部  
文部科学  
大臣賞

千葉県 松本 美春さん

# 木がつなぐ素敵な未来

木がつなぐ素敵な未来

松本 美春

私の母は、木のいすを大切に手入れし、なぜか手入れの最後になでている。それも、うんと優しい顔をしながら。なぜそんな事をするのだろう。いすは心も感情もないのに、私は不思議だった。

「物を大切にする。きれいに手入れをする。それは分かる。でも、優しい顔をしながらまるで子犬をなでるようにいすを優しくなでる母は、少しおかしい・・・変だ。」

と、私はずっと思っていた。

今日もいつものように、母はいすを大事に手入れをしている。私は、思いついて母に話しかけた。

「お母さん、そのいす大好きだね。いつも手入れの最後にいすをなでているよね。」

すると、母は照れくさそうに、でも嬉しそうに、優しく微笑みながら話し始めた。母はこ

の木はいすに座り、食事をする私が大好きだと言ってくれた。美味しそうに沢山食べる私を見ると、とても安心するようだ。母が妊娠した時に、卵巣に悪性の腫瘍が見つかった。そのため、私を産むことは難しいことだった。という事実を私は知った。でも、母は絶対に私を産みたいと強く思い、手術にたえた。無事に私が生まれた時は、喜びと同時に安心した涙が出たようだ。そして、このいすは父と母が二人で、私のために選んでくれたものだ。

た。ぬくもりがあり手触りもなめらかで、ほのかに香る木のいす。見つけた時にあたたかい気持ちになった。初めて離乳食を食べた時も、このいすに座っていた。今日までずっとならばこのいすに座って食事をし、勉強もしている。母はこのいすを手入れするたびに、私の小さな頃のことを思い出し、木のぬくもりも感じながら優しい気持ちになるようだ。このいすが私と同じようにかわいくてたまらないと母は言う。でも、いすをなでるの

はおかしいとは思った。だけど、それほどに私のことを思い、このいすも大切にしてくれていることが分かった。私は胸がいっぱいになった。そう言えば、今でも母は高学年になつた私の頭をなでる。本当は、私はもう高学年のお姉さんだから恥ずかしくてやめてほしいけど、今ならその母の気持ちが分かる。

「お母さんが安心出来るように、このいすに座って沢山食べて、沢山勉強して、沢山運動もして、心も体も健康にいるからね。」

と、私は心の中で母に約束した。

このいすは母の丁寧な手入れのお陰で、これからはずっと長く使えそうだ。私の未来の子供にも使ってもらいたい。私も母のように強く優しい母親になれるだろうか、なりたい。私も母のようにぬくもりがある木のいすに子供の成長を重ね、いすをなでる日が来るだろう。私と木のいすのとても素敵な未来だ。





千葉県 杉野 愛梨さん  
見えない力

見えない力

「森の中では雨にぬれないよ。」

木々の間からのそく六月の空に、音を立てて降り始めた雨。時どき小さな水滴が頭に触れるだけで、冷たく感じない。

私達家族は都心から約三時間、奥多摩湖のその奥に位置する森の湧流の滝にや。てきた森を守る活動をしているNPOのお兄さんに会いに来たりだ。まっかけは父が伐った一本の木。

「どうだ、頑張ってたんだぞ。」

樹齢六十年の杉の木を伐るボランティアをした父。その木の枝を輪切りにしたものを記念にいただいたと、得意そうにニコニコから出し、私に見せてくれた。杉の木が放つほのかに優しい香りは、心がやすうぐ。

「ふーん、良かったね。」

そう素々、気なく言いながら、葉一そうに話

す父の話にとても興味をわいてきた。真っ直ぐにそびえ立つ杉の木に迎えられた自分も思い描き、濃い自然の空気を、胸いっぱい吸い込む事を期待してワクワクした。

「ピーヒョ、ヒョヒョヒョ。」

日本三大名鳥であるオオルリの澄んだ声が聞こえる中、水の清らかな音が段々と近づいてくるのが分かった。はやる気持ちをおさえながら、丸木橋を渡りまると、源流部の雄滝に到着。せり出している大きな岩には力強い水

「ふきが上がっている。こんなに近くで滝を見上げるのは生まれて初めてだ。ごうごうと絶え間なく流れる水の勢いに圧倒される。この滝が私達に届く水の原点なのだ。」

降った雨は落ち葉のじゅうたんをつたって土の中にしっとりと染みわたる。空に向かっていた伸びている木々と同じくらい根が、大地を抱きしめている。目には見えない根の存在も森を支えているのだ。

今私がなでているこの杉の木は、六十年前

に未来へと繋ぐために植えられた。育てた苗木をたくさん背負い、村の人ほどんな思いで山に登ったのだから。木を通して人々の笑顔を願って……

「ほみた、花が今日は咲いている、今日は滝の水が多いな、こんな所にまきこが生えている。冬の森は光が差し込んで明るいな。」

「森は毎日違う表情を見せてくれるんだよ。」

鏡一そうに話を聞かせてくれた。森や木を整え自然を支える為の地道な活動をしているお兄さんの、温かい気持ちに触れた気がした。

また十歳の私は、大人になり自立をするための準備をしている真真、最中。一人では木を切り森を守ることはできない私は、幹も枝も細く、五十センチ程度の弱々しい苗木の様だ。

森の中で雨にぬれないのは、そう、木々達が雨から守ってくれているから。私も両親に支えられ見守られている。年輪を刻むようにゆくりと成長し、いつか誰かの役に立つ存在になれると信じている。



低学年の部  
環境大臣賞

東京都 園田 愛花さん

# どんぐりの木

どんぐりの木

園田 愛花

わたしの学校には、どんぐり山というすべり台やゆうぐがあるばしょがあります。どんぐり山には、もみじの木はあるのにどんぐりの木は一本もありません。そこで、どんぐり山を本もののだんぐり山にしよう！プロジェクトがわたしのクラスではじまりました。そして、そのプロジェクトは、ほかのクラスにもひろがりました。

わたしたちは、どんぐりをたくさんあつめて、それをどんぐりぎん行にも、て行、て、どんぐりをどんぐりの苗木にかえてもら。その苗木をどんぐり山にうえることにしました。

クラスのみんなまで、どんぐりをまい日たくさんあつめました。ほかのクラスの人たちもどんぐりをあつめるのにきょうう力してくれました。あつめたどんぐりは、水につけて、う

いたどんぐりは、外して、しずんだどんぐりだけをとりだしてかわかし、10こづつビニールふくろに入れていきました。そして、大きいふくろに10ふくろづつ入れて、どんぐりを100こづつまとめたら、それを大川村どんぐりぎん行にも、て行きました。

全校のみんなから九百二十九このどんぐりをもりました。クラスでは、二十八百六十このどんぐりをぎん行にあずけることができました。

どんぐりぎん行をはじめた高知県大川村に電話でお話を聞くと、人口が日本で一番少ない村という話や、どんぐりの苗木をそだてるには、クヌギがいいとおしえていただきました。わたしたちがあずけたどんぐりは、大川村のゆたかな自ぜんの中で大切にそだてられ苗木になるそうです。そして、毎年多くの苗木たちが全国にたびだ。て、時間をかけてせい長し、どんぐりがみゆる大木にな。て未来の森林を作。ていくそうです。

わたしたちワさいでもみんなながんばればしょくじ。活どうをし、森やゆたかな自ぜんを作るこができるとわかりました。お金のために自ぜんかんきょ。うはかいをする大人がいます。未来の地き。うをまもるためにも、世かいみんな自ぜんを大切にしなければいけないと思います。わたしは、これから自ぜんかんきょ。うのために、わたしでもできる活どうをや。ていきたいと思ひます。わたしが大人にな。たときに、どんぐりの木がみど

りゆたかに世かいにひろが。て、たくさんのだんぐりの木の森があればいいなと思ひます。



滋賀県 谷澤 あかりさん

# 「保全活動を通して私が学んだこと」

「保全活動を通して私が学んだこと」  
 谷澤 あかり  
 私は滋賀県東近江市にある「河辺いきもの森」の保全活動に毎月参加してります。保全活動に来る人の数は約二十人で、様々な地域や年齢の人が協力して、森の保全活動を行ってります。  
 私は幼稚園のころ、チラシでこの森での野外活動を知り、興味を持ち、たので申し込んでみました。そこで植物や虫の名前、竹の切り方、火の付け方など野外スキルをたくさん教わりました。小学三年生になつてからは毎月行われる保全活動にも参加し、竹のほ、さりや、外来種の駆除などをしてります。  
 保全活動の一日の流れは、まず観察会から始まります。観察会では森の中を歩き、草花の解説を聞いて、実際に見たりにおいをかいたります。観察会の後は保全活動をし、作業内容は季節によつて違つてます。春はさき刈り、夏は藻刈り、秋は落ち葉かき、冬は雪

かきなどをします。さき刈りは、植物の成長を妨げるさきをかきで刈ることです。外来種のカナダモという藻を刈る藻刈りは、レーキとリュウフオークのような形の道具を使ひます。落ち葉かきは、植物の成長を邪魔する落ち葉を熊手と竹ぼうきでかきます。他にも様々な作業があります。例えば、クズとリュウツル草の駆除やセイタカアワダチソウという外来種の草の駆除などです。  
 私が保全活動に参加するき、かけとなつたのは、森の木の萌芽更新を行うイベントです。萌芽更新とは、成長して大きくなりすぎた木を切り、森に光が入るようにする作業のことです。もしも森に光が入らなければ、木の下に生えている植物たちが成長しなくなり、生き物の食べる草や実がなくなつてしまひます。萌芽更新のために切られた木の一つは野外活動のときに私がとても気に入つた木だつたのでとてもさみしくなりました。しかし、しばらくしてからその切りかぶに新しい木の

芽が出ているのを見て、萌芽更新をしてよかつたなあと感じるようになりました。それから森へ遊びに行つた時などは、少しずつ成長する木の芽を観察してります。  
 保全活動は森のためにはとても大切なことです。人の手が入つていなくなり森は、生き物にとつて暮らしにくくなることあります。私は昔の森の写真を見せてもらつたことがありつた。そこに写つてたのは今の森とは全く違ひ、森に光が入らなかつた、緑の若々しい葉があつた。今、保全活動をした後、その場所を歩いてみると、森が生き生きとしてる姿をみる事ができます。  
 私は自然が好きです。なぜなら、天気や季節によつて、それぞれ違つた景色を見ることができ、とてもさみしいからです。そして、それはこの景色でもとても美しいと感じます。私はこの自然の美しさをこれからも守つて、さき刈りあつた木も大切に思ひます。



秋田県 石川 真衣さん

# お父さんは木工職人

お父さんは木工職人

石川 真衣

わたしのお父さんは、木工職人とい。て、山がら切。た木をけず。て、生活用品を作る仕事をしてい。ます。きかいをあまり使わ。ず、ほとん。どが手作。り。で。す。だから、手にも。た。時のぬ。くも。りが、ほん。のり感。じ。られ。て、思。わ。ず。な。で。た。く。な。り。ま。す。

材料の木は「斧折樺」です。名前の通り、斧が折れるほどにたく、水にしずむほどお

もい木です。作り方は、大体の形にのこぎりで切。った後、金。ぞ。く用のグラインダーでけず。てい。き。ま。す。最後。に。な。め。ら。か。な。手。ざ。わ。り。に。なる。ま。で、ひ。た。す。ら。紙。や。す。り。で、こ。す。り。な。が。ら。上。げ。て。い。く。そ。う。で。す。聞。い。て。い。る。う。ち、頭。の中。に。お。父。さ。ん。が。ひ。し。に。作。っ。て。い。る。す。が。た。が、見。え。て。く。る。よ。う。な。気。が。し。ま。し。た。そ。れ。は、ふ。だ。ん。見。る。こ。と。の。な。い。お。父。さ。ん。の。し。ら。げ。ん。な。目。で。す。

わたしは、お中にな、て、お父さんから話

の続きを聞きました。

作。っ。て。い。る。木。工。品。は、く。し、く。つ。べ。ら。は、し、お。わ。ん、ス。プ。ー。ン。ど。で。す。あ。る。日、わ。た。し。は、お。父。さ。ん。の。作。っ。た。く。つ。べ。ら。が、お。店。の。ウ。ィ。ン。ド。ー。に。か。ざ。ら。れ。て。い。る。の。を。見。て、び。く。り。し。た。こ。と。が。あ。り。ま。し。た。帰。っ。て。か。ら、そ。の。こ。と。を。話。す。と、お。父。さ。ん。は、

「くつべらは、宮内庁で宮様に使。ていた。だ。い。て。い。る。ん。だ。宮。内。庁。御。用。達。の。品。で、天。皇。陛。下。か。ら、よ。い。品。物。を。あ。り。が。と。う。こ。お

言葉もいただいたんだ。」

と、教。え。て。く。れ。ま。し。た。また、く。し（か。ね。り。髪。す。き）は、と。こ。も。頭。に。フ。ィ。ット。す。る。形。で、

「三。次。元。曲。線」は、七。千。年。の。く。し。の。歴。史。を。変。え。た。と。ニ。ー。ョ。ー。ク。で。絶。賛。さ。れ、世。界。の。へ。い

メイク。ア。ー。テ。ィ。ス。ト。に。も、広。く。使。わ。れ。て。い。る。の。だ。そ。う。で。す。あ。ま。り。に。ず。こ。く。て、わ。た。し。は。何。度。も。た。め。い。を。つ。い。て。し。ま。い。ま。し。た。

お父さんの作。った品物は、家の中にもあり。ます。く。つ。べ。ら。は、か。か。こ。に。び。り。合。っ。て

するりと入ります。台所にあ。る。ス。プ。ー。ン。は、シ。チ。ユ。ー。を。の。む。時、口。当。た。り。が。よ。く、金。ぞ。く。の。よ。う。に。歯。に。カ。チ。ッ。と。当。た。ら。な。い。の。で、安。心。し。て。使。う。こ。と。が。ご。き。ま。し。た。お。父。さ。ん。の。や。さ。しい。気。も。ち。が。つ。た。わ。て。き。こ。、何。だ。か。心。の中。か。ほ。ん。わ。り。し。て。ま。し。た。

最後は、お父さんは、

「い。つ。も、使。っ。て。い。た。だ。く。お。客。さ。ん。の。元。顔。を。思。い。う。か。べ。な。が。ら、一。生。使。っ。て。い。た。だ。け。る。よ。う、心。を。こ。め。て。作。っ。て。い。る。ん。だ。よ。」

と、教。え。て。く。れ。ま。し。た。わ。た。し。は、お。父。さ。ん。の。仕。事。は、大。変。そ。う。だ。な。と。思。っ。て。い。た。け。ど、認。を。聞。く。う。ち。に（お。父。さ。ん。と、す。ご。い。人。な。ん。だ。な）と、思。う。よ。う。に。な。り。ま。し。た。

わたしは、心。を。こ。め。て。作。ら。れ。た。木。工。品。を、こ。れ。か。ら。も。ず。と。使。っ。て。い。き。た。い。と。思。い。ま。す。そ。し。て、賢。い。人。た。ち。に。も、作。っ。た。人。の。気。も。ち。を。心。で。感。じ。な。が。ら、え。顔。で。使。い。続。け。て。ほ。し。い。と。思。い。ま。す。



海外(ベトナム) 浜野 七海さん

# 東京オリンピックと日本の木

東京オリンピックと日本の木

浜野 七海

この夏、私はベトナムから東京オリンピックを観戦しました。テレビから聞こえるセミの声は日本の暑さと木々を連想させました。今回のオリンピックでは、沢山の木が使われています。競技場、選手村、メダルケースなど。これらに木を使うのは何故なのでしょう。

木の良さの一つは触り心地が良いことです。

ポリエステルよりも木綿や絹が心地良いように、自然の素材には独特の温もりや柔らかさがあります。また空を見上げたり、木々を見たり、自然を目にするだけでも気持ちやすきります。木は見た目に「ほっこりした」温かみを感じさせます。人は木目を見るだけでも安らぎを感じる言われています。

木には音を響かせる効果や吸音機能もあります。木の中の沢山の管が、低音・中音・高音をバランス良く吸収して雑音をなくし、聞

こえる音をまろやかにしてくれるのです。今回のオリンピックの競技場の屋根やのきびさしに使用されているのは、この吸音機能をねらったものではないかと私は考えました。さらに、屋外エレベーターの外壁、選手更衣室内のロッカー、ベンチや選手村などにも木が使用されたのは、質感や温かみを感じられ、選手が少しでもリラックスできるように配りされた設計なのではないかと思いました。

また選手村は、神社の鳥居や祭りのみこし

に似ているなど、日本の文化を感じさせ、日本をなつかしく思いました。木はリラックス効果だけでなく、日本の文化も表現できるのだと気付きました。今回、コロナウィルスの対策のために観光することができなかつた選手達に日本らしさを感じてもらうことができたのではないかと思います。

使われている木の種類も調べました。今回東京オリンピックで使用された主な木は、スギやヒノキでした。この二つの木には、香りよ

りリラックス効果がありました。選手に少しでもストレスをいやしてもらいたいという理由から、スギやヒノキを多く使用しているのではないのでしょうか。また、屋根には竹が使われていました。竹には日光をしっかりと断しながら風を通す効果があり、室内に熱を通しにくく、暑さを防ぐなど、選手や関係者への暑さ対策にもなっているのです。選手達への気遣いを感じるとともに、日本の木の種類の多さと使われ方の違いに驚きました。

世の中が便利になればなるほどストレスを抱える人が増えていくように感じます。これには、木に触れ見る機会が少なくなつたことも少し関係しているのではないのでしょうか。選手村で使用された木々は各都道府県に返却され、公共の場、主に子供達が使用する場所で再利用されるそうです。次回、日本に帰国した際はその木々がどのように再利用されたのかをめぐり、実際に触れてみたいと思います。



低学年の部  
住宅金融  
支援機構  
理事長賞

兵庫県  
石野 心晴さん

まきストーブのあるくらし

まきストーブのあるくらし  
石野 心晴  
マツチを出してドキドキしながら、  
「シュッ」「ポー」  
なんと新聞紙に火がつきました。  
わたしの家では冬になると、家を暖めてく  
れるのはまきストーブだけなので、さむい日  
には、毎日マツチで火をつけなければいけま  
せん。  
冬の間、電気ストーブやエアコンを使ちな  
いので、家を暖めてくれるのは、まきストー  
ブだけです。  
まきストーブの薪は、いろんな木です。  
秋から冬の間は山づみに、木をもち  
てきて、お父さんがチェーンソーで短く切っ  
て、切ったまきをオノヤカイでわけていき  
ます。あつた木を家のわきにおいてほして、  
2年も3年もかけて、かわかしていきます。  
「わたしもまきを拾ったり、運んだりする  
のの手伝います。冬のさむい時に家を暖める

ために、何年も前の秋からいっしょにかわつよ  
うで、お父さんもお母さんも休みの日にまき  
のいっしょをせとせています。  
わたしは、なんかがアリのキリギリスのお  
話したりななと思ひました。アリは、春から  
秋にかけて食べ物を集めて、冬になると集め  
ていた食べ物で世話をすると、冬のまきス  
トーブのために春から秋にせとまきを集  
めていっしょにするのがよくにているなと思  
いました。  
でも、今はこの家でもスイッチ一つで暖  
かくなるのがほとんどなので、まきを集めな  
くてモキリギリスになるような人はいませ  
ん。  
それじゃあ、何でうちの家はこんな面どう  
なことをしているのさう。  
それは、お母さんが木のあるくらし、自  
人の生活が好きだからです。そして、まきス  
トーブのあるくらしがたかたそうです。  
かから、わたしの家はかま井もつくえ  
モイスも時計もティッシュケースもテーブカ

ッターもお母さんのうで時計も全部が木です。  
家に帰って来ると、ほんのリ木のかかりか  
して、気持ちがいいです。わたしは、この木  
のかかりが好きだし、しせんも大好きです。  
でも、まきストーブで木をどんどんもずす  
こと、カリことなのがかかりません。  
でも、お父さんから木を育てている山を大  
切にするためには、木を育てている山を大  
いとくいけないうで、そのため切った木を  
きさんと洗うすることか木を大切に山を  
守り自せんを守ることになる。だから、切  
た木をまきストーブで使ったりすることは、  
自せんを守ることにもつながるんだと教  
え  
てもらいました。  
わたしは、さむい冬にゆらゆらともえるま  
きストーブの火の前で体がほかほかして、と  
てもいい気持ちです。これか木をムカにせず  
自せんを大切にしていると思ふと、アリのよ  
うにはたらいでも今の木ともにくらして  
いきたいと思ひました。



高学年の部  
住宅金融  
支援機構  
理事長賞

東京都 黒部 優菜さん

# 家族を見守る大きな木

家族を見守る大きな木  
黒部 優菜  
祖父の家の庭には大きな木があります。ゴ  
ールデンウィークに祖父の家に行くと、白い  
花をたくさん咲かせて出迎えてくれる大きな  
木です。昔の高さは私の二人分、春になる  
と白い花が咲き、秋になると葉が赤く染  
まります。祖父の家に遊びに行くと、祖父は  
よく庭の木を眺めています。以前、祖父に「  
この木はいつからあるの」と聞くと、「優菜

贈られた友好の木でした。今では日本中で種  
えられていくそうなんです。なにか少し祖父の  
家の木が好きになりました。  
母にこの木の由来や特徴について話すと、  
母も嬉しそうに「こりと笑いなから、優菜  
が生まれた時は、おじいちゃんの家に行くと、  
泣いたりすると抱っこして、庭でその木を一  
緒に見ていたのよ、覚えてないかな」と言い  
ました。正直全く覚えておらず困っています。  
母はまた「こりと笑って、おばあちゃん  
も大好きだったよ、庭の木」と教えてくれま  
した。おばあちゃんはおか三才の頃に病気で  
亡くなりました。そのためあまりおばあちゃん  
の記憶が残っていないのです。母が大事  
にしていく写真を見たおばあちゃんやんと庭の  
木が写っていました。車いすに乗ったおばあ  
ちゃんや、赤ちゃんとのお膝の上で抱っこし  
てくれている写真です。赤ちゃんと私の顔を、く  
しゃくしゃの笑顔で見つめているおばあちゃん。  
その周りに、祖父や両親、叔母や叔父

の優しい笑顔。そして、その後ろに並んでいる  
白い花を咲かせたこの木が写っていました。  
とても温かい気持ちになりました。おばあ  
ちゃんや、この写真を撮った一年二ヵ月後に  
亡くなったそうなんです。  
コロナになってから、祖父の家に遊びに行  
けないので、よくライン電話で話をします。  
祖父は少し耳が遠く、大きな声で話をします。  
電話を切る時は必ず「元気で頑張ってください」と  
言ってくれます。すると私の頭の中に「祖父  
の庭の木」が浮かびます。私が生まれる前か  
ら、ずっと私の「家族」を見守ってきたこれ  
ほど大きな木。祖父は、おばあちゃんや大おま  
だ、大庭の木を毎日どんな気持ちで眺めてい  
るのかな。おばあちゃんも天国から見ている  
のかな。電話の後は、色々考えたり少し寂しく  
なったりします。今は、家族が離れ離れで  
なかなかに集まることはできませんが、私は「  
家族」が繋がっているような気持ちです。  
祖父の庭の大きな木を通じて。



低学年の部

日本木造住宅  
産業協会  
会長賞

京都府 園 理香子さん

# ヒマラヤスギの木

ヒマラヤスギの木

その リカ

わたしのいえのには、ヒマラヤスギの木が生えていました。わたしはよくこの木の下で、あそびました。おかさんも、むかしこの木の下であそんだそうです。この木は、おじいちゃんが生まれたときに、うえた木なので、ものすごくお年よりです。おじいちゃんば、もうなくなってしまう。たけれど、この木があるのです。とおじいちゃんば、いなくているみたいでした。

でも三年前、たい風で大きなえだが、バリバリシミシ、大きな音をたてておれてしまて、やねにのってしまいました。家にもわも泣いているみたいでした。わたしもお父さんもお母さんもおばあちゃんも、とてもかなしかったです。

みんなでそうだんして、ヒマラヤスギの木を切ることにしました。そしてそのいたで本

だなをつくることにしました。ヒマラヤスギの木を切ると、にはほ、しーんとしました。でも本だなが、いえにやってくる、みんな元きになりました。またおじいちゃんか、かえ。てきたみたいでした。かぞくぜんいんてじ分のお氣にりの本をえらんで、本だなにならべました。わたしも一ばんすきな「モモちゃん」アカネちゃんの本をならべました。

おじいちゃんが、わたしのすきな本読んでくれているみたいでうれしです。おじいちゃんも、モモちゃんやアカネちゃんのことをすきだといいなあ。

わたしは、この本だなが大すきです。これからはずっと、いっしょにいて、大切にしたいと思います。



高学年の部

日本木造住宅  
産業協会  
会長賞

埼玉県

阿部

# ビワの木

心咲さん

## ビワの木

阿部 心咲

私の家の庭には、ビワの木があります。おばあちゃんと一緒に種から育てた、思い出のビワの木です。

今から五年前、私が五歳の時に、私は初めてビワを食べました。おばあちゃんが、お友達の家で採れたビワをたくさんもってきてくれたのです。初めて見たビワはとてもきれいで、

夕日みたいなオレンジ色をしていました。私はその夕日色のビワを早く食べたくて、おばあちゃんを真似ていねいに皮をむき、口を大きく開けてかぶりつきました。「おいしい！口の中は、ほかにビワの甘酸っぱさが広がりました。しかしそのとき、ゴリッ」と前歯に固いものが当たりました。それは、大きな茶色のビワの種でした。一つの実からそれが何個も出てきたので私はとても驚きました。

「おばあちゃん、こんなに大きな種が四個も出てきたよ。お庭に植えた芽が出てくるかな？」

「本当に大きな種だね。うまく育つか分からないけれど、心咲ちゃんが植えてみたいなら植えてみようか。」

こうして私達は、ビワの種を庭に植えることにしました。まず庭の土を掘り、肥料をまきました。それから四個の種の中から一番大きな種を一つだけ選んで土に植え、最後に

じょうろで水をた、ぶりまかけました。私とおばあちゃんは種を植えたところに向か、て手を合わせ、芽が出ますようにと祈りました。

それから私は夏休みの中、おばあちゃんと一緒に庭の草むしりしたり、種を植えたところに水をまいて、芽が出るのを待ちました。そしてとうとう二期が始まりました。小さな小さなビワの芽が出ているのを見つけました。私とおばあちゃんは抱き合って喜びました。おばあちゃんは種を植えたときのよ

うに手を合わせて、「これからすくすくと大きくなって、たくさんの実をつけようよ。」そして心咲ちゃんも、おばあちゃんも、そんな人生が、ビワの木のように実り多い人生になりましようよ。」

と、土から出たばかりの小さな小さなビワの芽に、私のこしも一緒に祈って水まきました。

あれから五年が経ち、ビワの木は二階のベランダに届きそうなくらい大きくなりました。小さかった私も、お母さんの身長に届きそう

なくらい大きくなりました。ビワの実はいよいよ、まだ一度も実ったことがありません。でも、きつと大丈夫。ビワの木も、私と同じようにいつかたくさん実をつくられるように、今しっかりと準備をしているところなの

だと思えます。おばあちゃんも、そんな私とビワの木の成長を、天国から優しく見守ってくれていると思います。大好きなおばあちゃんとの思い出のビワの木を、私はこれから大切に育てていこうと思います。

兵庫県 坂本 陽菜さん

おとうさんのくっ下の木くず

おとうさんのくっ下の木くず  
 さがもといひな  
 わたしの一ばんちがしにある木は、おとう  
 さとのくっ下の木くずです。おとうさんがい  
 つもやるイスのたのい、うたには、木く  
 ずかい、ばりついていて、ザラザラします。  
 い、うたについた木くずばなかなか、それな  
 りので、おとうさんほい、つも、  
 「くっ下はばげんがとてい、い、  
 とぶかあさんにおこらぬてい、ます。わたしも  
 ザラザラおむと、すこしいたりので、おこり  
 ます。  
 おとうさんのしごい、木で、ママをつくる  
 しごとです。だからおとうさんのしごとがお  
 物ると、くっ下にたくと、おとうさんの木くずがついて  
 います。くるまのながや、てや、あたきには  
 木のにおいがついてい、ます。  
 はい、し、さんにい、たくと、おとうさんい  
 ばなすと、い、

「あのはいし、マのドマヤカウンダーは、  
 おとうさんがつく、たんだよ。」  
 と、おとうさんがおしえてくれました。わた  
 しはそれをおいて、おひらきをしました。えして  
 みんがつか、ているが、ママおとうさんがつ  
 く、しているし、て、とてもうれしくなりま  
 した。おが、あさん、  
 ママ、ま、い、ね。あのはいし、さん、木の  
 においがし、し、す、さ、だ、た、ま、よ。  
 と、うれしゅうでした。おともだちにもおし  
 えてあげたくなり、ました。  
 わたしは、おとうさんの木のにおいがとて  
 も好きです。いつもおが、あさんと、マ、マ、マ、マの  
 くっ下におこるけど、おとうさんのくっ下の  
 木くずや、木のにおいがするくるまも、ザラ  
 ザラのし、うたも、おとうさんが、お、  
 た、く、し、し、う、です。わたしが大きくな、たら、  
 おとうさんに木でできた、マ、マ、マ、をあげたいで  
 す。  
 おとうさん、いつ、も、あ、り、か、た、う。



高学年の部

朝日小学生  
新聞賞

福岡県

小田

孝太朗さん

# 心地よい響きとは

心地よい響きとは

小田 孝太朗

キャッチフレーズは「簡単に消毒でき、清潔感に富んだ最高のまな板」と記してあった。これで決まりだ。ぼくは今年の母の日のプレゼントは、白い樹脂製のまな板だと決めた。コロナの影響で、お母さんと料理する機会が増えた。その中で気付いたことがあった。それはお母さんが食器を洗う以上に、まな板を丁寧に洗っているということだ。まず、タ

ワシで木の目に浴びて洗う。その後、手のひらで触って汚れを再チェック。匂いまでかぐこともある。や、と洗剤が登場し、お湯で洗い流し、最後に必ず立てて陰干しで乾かす。さらに、少しでも黒ずんだ部分が見つかるヒヤスリで削り取っている。ある日お母さんに「このまな板、もう何年も使っているよね」とたずねた。すると、こう答えた。

その時は、あまり気にとめずに聞いていた。まな板が宝物だ。たら、いくつあってもいいかなと、ず、と母の日に備えて素敵なまな板を探すことにした。家庭科の時間、白い樹脂製のまな板を使った。白いまな板の上のブロッコリーやにんじんが鮮やかに見えた。後片付けも洗剤で洗い流し、布巾でふいて終了。これだと忙しいお母さんにび、たりだと「白い樹脂製のまな板を選ぶことに決めた。」

「ありがとう。今年は珍しいブレゼントね」と言われ、複雑な気持ちながら満足していた。それから、しばらく経ってもブレゼントしたまな板を使、てくれず、とうとうぼくは、「使わんか。たら、誰かにや、たら。」と言った。するとお母さんは、「ごめんね。お母さんが、この木のまな板にこだわるのは理由があるからなんだよ」と、木のまな板を持、て来て話し始めた。

我が家は、ヒバのまな板を使、ている。ヒバのまな板は、殺菌作用があり、洗うたびに独特な香りが深い。気分も和むらしい。また包丁を使用した際の「あたり」が柔らかくて我が家で使用している鍋の包丁との相性もよく、食材も滑りにくいそうだ。そして、ここまで木のまな板を愛するのは、硬いものを切っても疲れにくく、「トントント」と切、ている音が何ともいえない美しい響きで、心地がよいからだ。と。さらに「ぼくの記憶にはないが「トントント」という音が幼い頃から大好きだ。たぼくは、この音が聞こえると手拍子をしたり、一緒に「トントント」と言、て切るまねをしたりしていた姿がとてかわいらしく今でも鮮明に覚えていると話してくれた。「ごめんね、もう、たまな板使、てなくて、食材毎に使、て分けて早速今日から使うね」と最後に言、たので、ぼくはこう答えた。「いいよ。でも最高に心地よい。トントント」の音がする木のまな板は不滅だからね。」





高学年の部

審査員特別賞

千葉県 小寺 慎之助さん

# 大切にしたい ぼくらの校庭

大切にしたい ぼくらの校庭

「じゃあオレが取ると言うよ」と思いついて地面をける。伸ばした手がみずみずしく熱い。校庭の隅々まで人があふれている。6月のある日の休み時間、クラスの間でつみ食い。みんなの分をぼくが取ってあげた。ひとつずつ。ぼくはみたいたが、あとは甘くて大好評。

ぼくの学校には四季それぞれに楽しめる。春は桜、夏は緑、秋は紅葉、冬は雪。ぼくは木が生えている。梅、桜、ツツジ、ひらね、あなず、ザクロ、栗、いちじく、シイタケなど。仲間と木登りで遊ぶのはもちろんのこと、春、学校でのおやつはツツジの蜜。夏はピフでのいも、秋は栗や銀杏を持ち帰ってご飯と一緒に炊いてもらう。冬はたくさの落ち葉を校庭の池に敷き詰めて遊んで、仲間が知らずに通って落ちてしまったり。大爆笑。みんな先生にすごく怒られて、学校生活史上トップ3に入る楽しい思い出。

東京に住んでいる祖母は「慎之助の学校は自然豊かだ」とよく言う。そう言われてみると、祖母の家は木があまりない。道に街路樹は生えているけど、それも葉が少なくて弱そう。けれど、ぼくの町だ。てすこい田舎ではない。近くにコンビニやスーパーもあるし、大きなマンションだ。電車でも数分で行けばデパートやショッピングモールもある。便利だ。

ぼくの小学校は里山みたいだと思える。山と人間と共存している林や森のこと。人は森林から薪やたい肥をもらう。木は成長するにまかせているし、照葉樹林だけに。そして、地面に日差しが届かなくなってしまう。そうすると下草がなくなり、それと共存する生物もいなくなる。そして、そこに人の手入れが入ること、日差しが届き、生態系も保たれる。

ぼくらにとって、校庭の木々は遊び場であり、食料をもたらしにくれる。そのお礼には

くらは雑草を抜いたり、落ち葉や枝を掃除する。ぼくらと自然がバランスよく共生している場所。このような関係が日本中に広がれば地球温暖化に歯止めがかかるかもしれない。何よりみんなが四季を感じて心豊かに暮らすのにはないだろうか。

夏休みで誰もいない校庭。たけびの合唱でリズムと変わらなげやがた。二学期が始まれば、これにぼくらのにぎやかな声が加わる。秋、冬を過ごすと、ぼくはこの学校を卒業だ。寂しいけれど、たくさんの思い出を胸に刻み、未来に送ろうと思う。自然豊かな未来を作るために。



高学年の部  
審査員  
特別賞

北海道 佐々木 優都さん

# 帯広の森「はぐくーむ」

帯広。森林はぐくーむ  
佐々木 優都  
七月十五日、ぼくたち帯広市立  
校四年生と五年生は、宿泊研修に  
行きました。宿泊先の近くに  
帯広の森「はぐくーむ」で休  
し活動もしました。

「帯広の森」は帯広市内にちる  
大きな森です。面積が約四百  
ワタールもあり、帯広市民が  
三十年かけて植じやをして作  
った森です。

「はぐくーむ」は、帯広の森の  
中にある、しせつです。「はぐく  
ーむ」では、森づくり体験んや、

木工体験ができます。  
ぼくたちは、間伐したき火を行  
いました。間伐では、かみづに  
たすぎやヒノキも、てき切り生  
しく抜きようにするたため、伐さ  
る。作業のことです。しせつの方  
から間伐つようせいにしてい  
説明がありました。ぼくは、木を  
大きく丈夫に育てるために、木を  
切るつようがあることも知って  
おどろきました。このとき、木も  
たくさんの手入れをして育ててい  
ることを知りました。

説明の後、間伐をしました。事  
前に学校で、ノコギリを使って木  
を切る練習をしていたので、思

たより、左手に切るこたがさま  
した。でも、この日は、気温が三  
十度もあったので、汗でTシャツ  
がビショビショになりました。木  
を育てるのは、大変なだと思  
いました。

切った木を集めて、たき火をし  
ました。たき火をするまえに、シ  
ラカバという木の皮を集めました。  
シラカバの木の皮は、とてもも  
やさいので、たき火をする時にべ  
ん利だそうです。木の皮をぬく  
てはがす作業は、楽しかったです。  
ドラム缶に、木とシラカバの木の  
皮を入れ、木を置く時は、  
空気が入りやすいようにすま

つくるべ良いて言われました。い  
 たいよ、マツチでバるうけます。  
 ぼくは、マツチを使つたことがな  
 かつたので、少しドキドキしまし  
 下。でも、ゆつてみるよ。いがり  
 にかんちんでした。  
 マツチの火は、シラバの皮に  
 もえうつて、あつていう間に大  
 きな火になりました。カラマツの  
 木は、松やにがゆくゆくまわると  
 め、よくもえます。うちわであお  
 ぐと、ぎらにいきまわりよくもえま  
 した。こんどにおぐと、大きな火  
 がまきろのお見て、ぼくは、火の  
 しぶきは、ぜ、ぱりにしてはいけな  
 いと思ひました。

火は、三十分くらいでおわ  
 りました。  
 ぼくは、おむでの、体けん活  
 動を満して、森林の大切さや、火  
 事の大切さについて知る事がで  
 きました。



北海道 笹谷 栞さん

# 木と私たちとのかかわり

木と私たちとのかかわり

笹谷 栞

森は木があつまるところです。森には動物がすんでいます。人間もすんでいることがあります。生き物は空気がないと生きていきません。植物は息をしていますが、二酸化炭素をすって酸素をはいていきます。なので私たちが生きていくのは植物のおかげでもあるのでお。たりつぶしたりき、たり、しないようにしましう。

木にはいろいろな実がなっていることがあります。たとえば、いちご、ぶどう、バナナ、ココナッツ、まだまがい、ばいがあります。むん島にはよく、ココナッツの木や、バナナの木とかしかありません。なので、むん島に行く時はさいしよかり食べ物をも、てくるか、木からとり出すかでせんたんしがありません。家は木で、できています。むん島に行くと木はいっぱいあります。ですが、一人で家をつくるにはいきません。なので、木で、おる所

をつく。たり火をつけたりして、むん島でも気もちくはないかもしれませんが、くらせるので、考えてみれば、木はすごくべんりです。なので木をすごく大事にしようと思いましたが。



高学年の部

北海道ブロック  
エゾマツ賞

北海道 隈本 香凜さん

# 季節を感じる楽しい校庭

季節を感じる楽しい校庭

隈本 香凜

私は、二年生の時に神奈川県から北海道に転校してきました。今の学校の校庭は前の学校の4倍くらいの大ささで、たくさん木に囲まれています。私は、その大きな校庭で遊ぶのが大好きです。

春は、さくらがきれいな花を咲かせます。少しおくれで桜もかわいい花を咲かせます。理科のじゅぎょうの時に、みんなで見に行くと、

ちんちんとさくらの花はからからといて、「きれいだねー。」と、うーとりががめきました。

夏は、そのさくらの木に、さくらんぼがなります。本当に食べられるさくらんぼが校庭に生えているなんて、私はびっくりしました。放課後に、こ、そりお友達と取って食べます。スーパで買うのよりも、みんなを取りたてを食べると、とてもおいしく感じます。

秋は、たくさん木の実がなります。どん

がり、トチの実、くり、ぎんなんなどです。休み時間に取りに行くと、大きさをくらべて競うずるのも楽しいです。私は、おたん生が9月なので、お友達も校庭で大きなクリをたくさん見つけてプレゼントしてくれたのびびり、くりしました。そして、紅葉も赤とオレンジ色になって、とても校庭がカラフルに変わって、きれいです。

冬は、葉は落ち、雪がふりかかると、みんなと、しーに雪でかまくらを作ると、

雪だるまを作ると、たります。雪だるまのうでや、かまくらのかさりつりに、木のえだを使ったりして遊みます。今年のお正月には用む買のおじさんか木のせんでいをして、あま。

たえたをもらって、「まゆ玉かさり」を作りました。木のえだに、もなかの皮おたいな丸い玉をく、つけて作ります。紅白、ピンク、緑、黄色、青のたくさんまゆ玉かついた木のえだは、はなやかで、いい年をむかえられそうだな、と思います。

校庭にたくさん木のしゅ類の木が生えているおかげで、遊具がなくても楽しく中休みを過ごすことができます。私は、季節によ、いろいろな遊びができる学校の校庭が大好きです。私が大人になっても、木が、と元気でこのいてくれるといいな、と思います。





山形県 谷中 じゅんじゅんさん

# わたしの木の家

わたしの木の家

谷中 じゅんじゅん

わたしの家は木の家です。会津の山で育った木材を使って作りました。

八年前に家をたてると決めたとき、お父さんは地元の木を使って作る大工さんにおねがいしたいと思い、この家をせ、計してもらったそうです。わたしはまだ二才でした。小さくて全部はおぼえていませんが、時々家がよこまでた、たのかを見に行きました。行くと

ひに木がたくさん組み合わされて、げんげんお風呂、リビング、と、部屋がどんとんできいてきました。とてもうれしか、たです。

とまりに行、た先から帰、て来てげんげんアを聞けると、ほのかに木の香りがして、落ち着きます。いつもは当たり前にな、ていて気がつきませんが、わたしの家の木の香りが大好きです。

ダイニングテーブルも大工さんが木で作ってくれました。世界に一つだけのテーブルで

す、ご飯を食べるだけでなく、宿題をしたり絵をかいたり、何でもこのテーブルでやっています。家族みんなのお気に入りです。弟が赤ちゃんの時にかじ、てしま、た歯形もついています。これからも大切に使用したいです。

わたしの家のゆかば、あつぎ五センチくらいの会津の木材を張り合わせてあります。はたして歩く、夏はひんやりとするのに、冬はあたたかい感じがします。

この前、お母さんとそうじをしたときに、

気がついたことがあります。夏にはひび、たりとく、ついでいるように見えた木材同士が、冬にはすき間が空いているように見えるのです。このすき間はなぜできたんだろうとふしぎに思、ていたら、お母さんが、

「木は、気温やしつ度に合わせて、ふくらんだり、ちぢんだりするんだよ。」と教えてくれました。さらに、

「会津は夏は暑くて、冬は寒いから、それに合わせて木が息をしているんだよ。」

と聞いて、わたしはとてもおどろきました。だから、夏にはしつ、息をふくんで木がちむのに対して、冬にはかんそうして木がちむのです。すき間ができたんだと分かりました。

会津の山で育、た木は、わたしの家の柱やゆかやかべにな、た後も、し、かりと息をして生きています。わたしは、そう考えると、木は切りたおされた後もちゃんと生きて、ついで、どの季節でもわたしが住みやすい家にしてもらっているんだなと思いました。

木のことを知り、わたしの家の見方が変わりました。木は切りたおされても、木材として移を変えて、わたしの家で生きつづけています。わたしは、気がつきました。まだまだ知らない木のことも、とも、と知りたいなと思います。

大工さんか心をこめて作、てくれた世界に一つだけの家。大好きなわたしの木の家を、これからも家族みんなで大いに大事にしていきたいです。





群馬県 天田 有紀さん

# 日本の木造建築

日本の木造建築

天田 有紀

私の祖母の家は、今時めずらしい、はりがあちこちにみえる。日本家屋である。玄関を入ると屋根まで、太さ三〇センチメートルがあり、黒褐色のほりが、縦に横に張りめぐらされていて、私たちをいつもと変わらぬ出むかえてくれる。おたやかです。しりとした、そのたすまいに安心感を得るし、昔の人の技術にも圧倒される。どのように組み立てたのだろうか、と思いを寄せるとわくわくしてくる。

祖母の家は、築七〇年を超えている。天井がなく、ほりが見えているので、かっこいい。私の高祖父と曾祖父が建てた家で、祖母も母もそこで育った。立て直しの機会が何度かあったようだが、その度にリフォームすることにしたようだ。大工さんには、「こわして新しい家を建てたら」と言われることが常となっていた。しかし、

この家を建てた先祖達の気持ちも考えた。何より祖母はこの家が大好きで、建て直すという結論にはならなかつたらしい。祖母は、「こんなにはりのみえる家はなかなか無いでしよ。こわさないで良かったよ」と言っている。ほりのうちの一本は真黒に黒光りしている。そのほりは、この家のさうに前の家で使っていた囲炉裏の上の柱で、いぶされてそうなららしい。少し湾曲していてもかっこいい。

木の持つ力は無限で偉大だと感じる。広く日本中を見渡せば、歴史的建造物はほぼ木造である。奈良の法隆寺は建立約一四〇〇年、想像を絶する。祖母の家もそれには到底及ばない。なんて丈夫でたくましいのだろうか。また、そこに暮らす人々を雨風から守り、安らぎを与え、暮らしを守る。私の母も、家を建てたいと思っているらしい。母は、「おばあちゃんの家をそのままらいたいくらいだよ。木は年月を経ると見た目も黒く

つやが出て偉そうに見える。だからか、こいい。そういう木を使つた家はなかなか無いのよ」と言っていた。

昔から日本人は木に囲まれて生活してきた。日本の国土の約七〇パーセントは森林である。しかし、近頃はウッドショックがあり、輸入の材木が日本に届かないという問題が起こっている。日本の材木が不足しているのである。木の素晴らしさを見抜き、共に生きてきた日

本人には危機的状況ではないか。私は祖母の家に行くたびに木のぬくもりを感じる。丁寧にお手入れをして、家族の一員のようにならぬに扱い接すること。何百年とこれからも私達と共に生きてくれると期待する。木は限りある資源である。素晴らしい貴重な資源を無駄に使うこと無く、丁寧に大切に人に接するようにならぬ人が増える事を願う。私も、かっこいい木と共に長く生活していきたい。



福井県 清水 杏珠さん  
 わたしとおばあちゃんのかきの木

わたしとおばあちゃんのかきの木  
 わたしとおばあちゃんは、くたもののかき  
 が大好きです。 し水 あんじ  
 わたしが三さいのころ、おばあちゃんとい  
 しょにたぐたかきかともあまくておいしか  
 ったので、そのたねを家のにわにうえました  
 まい日おばあちゃんここのたいで、じょう  
 ろで水をあげました。しほらくすると、小さ  
 なめかててきました。それを見たらわたしは、  
 わあ、いったべれるのい  
 とおばあちゃんにぎいたそうです。  
 たねをうえてから五年がたちました。その  
 あいだ、たい風がきては、ほか一まいもなく  
 なったり、えたがおれてしまったりしたこと  
 もありました。大雪のときは、雪の下じき  
 にな。て、ね。こからおれてしま。たりもし  
 ましたが、今でも一生存けんめいにそだ。てい  
 ます。今、かきの木の大きさは、わたしのむ  
 ねぐらいの高さです。

かきには、ももくり三年かき八年という、  
 ことわざがあるそうです。うえてからみかな  
 るまでに、ももくりは三年、かきは八年か  
 かるというところで、おいしいみばすぐにはで  
 きないよ。といういみらしいです。  
 八年かかるといことは、あと三年たてば  
 みかなることになります。  
 三年たて、おいしいみかできたら、まだ  
 おばあちゃんといしょにたぐたいと思います  
 みかできるのが、今からとてわたしのしみで  
 す。







静岡県 近藤 穂乃花さん

# 木の名前しりとり

木の名前しりとり

近藤 穂乃花

「キノキ」「ギリ」「リンゴ」「ゴ...ゴ?」  
 ゴからはじまる木なんて、ないよ!」この前  
 おてかけをした時、車の中でひまだったの  
 おばあちゃん二人でしりとりをしました。  
 テーマを決めてやる「名前しりとり」。今回の  
 テーマは「木」です。でも、おばあちゃんも  
 私も「ゴ」から始まる木を知らなかつたので、  
 すぐに終わってしまいました。

ある日、図書館へ行った時、植物園かんが  
 目に入っただので、「木のしりとり」を調べて  
 みようと思いました。

キノキ・キリン・リュウブ・ブナ・ナツツバキ  
 キブシ・ジャリンバイ・イチヨウ・ウメ・メ  
 タセコイア・アカマツ・ツリバナ・ナカマ  
 ド

ちよつと調べただけでまだまだつづきます、  
 聞いたことない名前ばかり、どんな木かな?

せつ明を読んでもみると、公園やにわ、学校や  
 山などにある木でした。ふだん目にしている  
 「木」の名前を知っていたら、「しりとり」は  
 もっとつづいていたんだな。と、おどろきま  
 した。

そして、しりとりで大切なポイントである  
 「ん」で終わる木の名前も気になります。私  
 の予想では「ん」で終わる木は一つもないと  
 思います。こちらにも図かんで見えたら、  
 ウゴン・カンザン・ビバクシン・モクレン・

レンタン・ナンテン  
 なんと六つもありました。ビックリです。  
 知っているようで知らない木の名前。今度  
 公園へ行ったらネームプレートにも注目して  
 みたいですね。図かんを持って行くのも面白い  
 かもしれません。

おばあちゃんにも今回調べた木の名前を教  
 えてあげて、「木のしりとり」をリベンジして  
 みたいです。ただ、むずかしい名前ばかりな  
 のでおばえていられるか不安です。そうした

ら、また図かんを見たり、インターネットで  
 調べたりして少しでも長くつづけてみたいで  
 す。



静岡県 原 緋奈乃さん

# オリーブの木にこめた平和への願い

オリーブの木にこめた平和への願い

原 緋奈乃

八月十五日は、終戦記念日であることを歴史で学びました。テレビでは、終戦記念日の式典が放送されていきました。戦争によって多くの人々が命を落とし、町並も木々も焼きつくされてしまいました。その出来事は、たいも忘れられない悲惨なことです。

私の家の庭には、一本のオリーブの木があります。その木は、私が四才の時に植えられました。毎年、花が咲いて実をつけることも楽しみにしています。時には、元気がなく枯れてしまうのではなにかと、心配になります。水をし、かりしあけて大切に育てています。今では、美しい緑の葉をつけています。

ある日私は、お母さんに「どうしてオリーブの木を植えたの？」とさかかてみました。母の答えは、「オリーブの木の花言葉は、平和

知<sup>ち</sup>し<sup>し</sup>知<sup>ち</sup>恵<sup>え</sup>」なのよ。平和な時代の中で、たくさんの方の知識を身につけてくれたらいいな。そんな願いをこめて植えたのよ。

私の学校では、聖書を学ぶ授業があります。私は、旧約聖書の「ノア方舟<sup>ノアフナ</sup>」を思い出しました。そこには、ハトを放ち舞<sup>ま</sup>り戻<sup>も</sup>ったハトはオリーブの若葉をくわえていた場面がありました。これに由来するものだと分かりました。ギリシャ神話の中に、アテナとポセイドの戦いは、全能の神ゼウスが人々にとって、

役立つ贈りものとしたものに勝利をあてえしました。オリーブの木を植えた、アテナが勝利しました。それは、さまざまなことに使えるからです。例えば、実<sup>み</sup>は人の食料となり薬にもなるということです。また、しっかりと育てれば、木々は増え枯れることはないことです。

私は、オリーブの木や他の木々がむれむれ私達にとって良いものか、匂<sup>にお</sup>い付<sup>つ</sup>きました。木影を作<sup>つく</sup>ってくれる。風をよけてくれる。家屋

の材料にな<sup>な</sup>ってくれる。二酸化炭素を吸収して酸素をかえてくれる。などのたくさん良いところがあります。私達の生活には、木はとても大切な存在です。だから戦争をしてはいけません。年月をかけて生きたものを全てか<sup>か</sup>し<sup>し</sup>人<sup>ひと</sup>にして失<sup>し</sup>な<sup>な</sup>れ<sup>れ</sup>る<sup>る</sup>からです。失<sup>し</sup>れ<sup>れ</sup>た生命は、二度と再生できません。そして、木は長い年月をか<sup>か</sup>けなければ育<sup>そ</sup>つ<sup>つ</sup>ことはできません。その大切な木々が、これから未来にむか<sup>か</sup>って元<sup>もと</sup>気に直<sup>ただ</sup>って平和な世界をのぞんでいます。我が家のオリーブと共に。

低学年の部

中部ブロック  
神宮スギ賞

三重県 玉木 心結さん

# わたしの家

わたしの家

玉木 心結

わたしはログハウスに住んでいます。ログハウスの家で、たくさんのお友達が遊びに来ます。友達は、わたしの家のことを、「カフミタイデ、ステキだね」と言ってくれたりします。ログハウスの家で、毎日キャンプしているみたいで楽しいです。でも、本当は友だちの家みたいで白い

かべの家がいいなあ、と思うこともあります。だから、「何で木の家にしたの?」

と、お母さんに聞いてみました。すると、お母さんは木の家のいいところを三つ教えてくれました。

木の家のいいところの一つ目は、木のかべがへやのしつどのちようせいしてくれらうことです。木のかべは、回りのしつどが高くなるので、お母さんの水分をぎゅーっして、ぎゅーっしてしつどがひくくなれば水分をばき出すとい

うと、長があるそうです。このほたらぎによつて、エアコンをたくさん使わなくてもへやのしつどをかいてきにしてくれるそうです。また、へやのしつどが高くなりすぎることはないので、けつろしにくくなりカビやダニの発生をふせぐこともできるそうです。

二つ目は、コンクリートのかべの家にくらべて、木の家は十二ばいのだんおつせいがあるといふことです。ログハウスは、木をたくさんつかっているのでも夏はすずしく冬はあたたかくすこすこすることができるといふそうです。

三つ目は、木のおいには心や体へのリラクス効果があるといふことです。わたしの家は、たててから七年目になるけど、へやの中はまるで森の中にあるような木のいいにおいがします。木のおいをかくと、わたしはとても心があちつきます。

お母さんに木の家のいいところをたくさん教えてもらって、木の家には今までわたしがい

知らなかったステキなところがいっぱいあるんだなあと感じました。わたしの家のへやのかべは、友だちの家みたいにかわいい白いかべじゃないけど、かわりに木目がたくさんあります。木目には千分の一ゆらぎという、とくべつなりズムがあるそうです。たとえば、小川のせせらぐ音やはたるの光り方などにもみられる千分の一ゆらぎは、それを感じることので心がしぜんと落ちつきリラックスできるのだとお母さんが教えてくれました。

この話を聞いて、わたしは自分の家が落ちつく理由が何となく分かりました。友だちの家もステキだけど、いろんなことを知って、木をいっぱい使っている自分の家が前より好きになりました。これからは、家のかべがいたんだりと、たりたりしないように、お父さんがペンキをぬったりする時はお手つたいをしたり、かべやゆかをきれいにふいたりして、大切に住んでいきたいと思ひます。



愛知県 加藤 淳さん

# お父さんと木の家具

お父さんと木の家具  
加藤 淳

ぼくのお父さんは、木の家具を作っています。昔は東京の家具工房で作っていました。ぼくが2才の時に、蒲郡で自分の店、「エコーズファニチャー」をはじめたそうです。木のことについて考えた時、ぼくはお父さんに木の家具について教えてもらいました。

お父さんは、昔から物を作るのが好きで、木の家具を作った時のやさしさが感じられるのが好きで、木の家具にしたそうです。材料の木は、チェリー、ウォールナット、メイプル、ナラ、さくらなどいろいろ使います。それぞれの木で、色や木目、におい、色の変化の仕方などがうろたいます。例えば、チェリーは使ったとすると色がこくなるが、ウォールナットは黒い木が、やさしい茶色に変わり、ナラは白い木が、あめ色になる。メイプルの木に焼印をあすと、メイプルシロップの香りがするそうです。お父さんの好きな木は、ナラ

とチェリー。なぜかというところ、どちらの木も使うほどに味がい深い色になるからだと思います。

よく作る家具は、するとテーブルで、おぼろしいのは、おぼろしいです。どんな人が、おぼろしいの、おぼろしい作り、すわり心地や、軽さ、形の美しさなどを考えないといけません。軽さ、お父さんが一番力をいれる所は、なめらかな手ごわりの仕上げと、何十年使ってもこわれなかりしつかりとしたつくりです。丈夫にするために、ジョイントというやり方で組ませています。クギやねじだけで作ると、使ったとすると、木がボロボロになっちゃうので、ジョイントなどで木を加工して組み上げると、丈夫でこれでも直さなくても大丈夫です。手ごわりがいいのは、テーブルの表面をカンナと言いう刃物で削って、仕上げているから、何年たってもつるつるで気持ちよく使えます。自然とリキンをぬいでいるので、表面をけずり直すことができません。

お父さんはどの家具を作る時も、注文してくれるお客様が喜んでくれる笑顔が想像しなから作るそうです。だから、納品してお客様に喜んでもらう時は、何年も使った後にまた注文してもらった時は、気に入っていただけだなんだといううれしくなるそうです。

ぼくは、お父さんが手道具を使っているのを見て、お父さんは、いつも昼も夜も家具のことを考えています。そんなお父さんの家具が、みんなに長く使ってもらって、それぞれの家になじんでいくといいなと思いました。



和歌山県 石井 香流さん

# 私と木のかかわり

私と木のかかわり

智辯学園和歌山小学校二年 石井 香流

私の家の近所に公園があります。そこにはクヌギや山茶花、コナラや椿の木が生えています。季節によって咲く花は違ったり、秋にはどんぐりを拾うこともできます。家族で遊んだことや、幼稚園の遠足で行ったこと、その時の楽しかった出来事と一緒に葉っぱの色や花の匂いを出します。お母さんが、

「あなたが三才くらいの頃、一本ずつ木を抱きついてたね。」  
と話してくれました。私はすっかり忘れてしまっていたけれど、お母さんの中には私と木の思い出が残っているんだなあと思いました。

夏休みのある日の夜、お父さんと一緒に車で少し遠くの山へ行きました。夜の森で木や生き物を見るためです。向かっている途中はドキドキしていました。車からおりたら、みんなが懐中電灯を照らしていたので、思いだよりも明るかったし、案内してくれる先

生の説明を聞いているうちに、だんだん安心してきました。

山には、とても大きいヤマナメクジやナメクジなどがいました。ニイニイゼミは夜更かしたそうで、夜なのに鳴いていました。私には生き物たちが生き生きとしているように見え、住みかにして、木と助け合っているように思えました。

帰りの車の中、私はなぜか行く前より元気になった。お父さんは、「生き物や木にたくさん元気を分けてもらってたね。」  
と言いました。

家で布団に入ってから、森で見たネムノキを思い出していました。ネムノキは昼間には葉が開いていますが、夜になると閉じます。私はなんてかしい木なのだろうと思いつつ、ネムノキの夜の姿を思い出しながら眠りました。この前、家族で旅行に行っていて、来た時

ふわっと木のいい匂いがしました。おうちってこんなにいい匂いがするの、いつもは気付かなかったんだな。よく考えてみると私の身の回りには木でできているものがたくさんあることに気付きました。小さい頃遊んだ積み木は、今では弟が遊んでいます。私が大好きな絵を描いたり毎日宿題をする時、そしてこの作文を書くのも木のできた鉛筆を使っています。

木をたくさん使っていて、未来には木が減ってしまうのかな。大切な木がなくなっていくことはさみしいけれど、生活が良くなるのはいい事だからおもしろいと思います。

私が大人になった時、近所の公園やあの夜に行った森は残っているのかな。私にできることは、いつもお父さんがどうの気持ちで道具を使うこと、ゴミを増やさないこと、生き物の命を大切にするこなどだと思います。これから先も木と私たちの未来をつくらせていただきます。





徳島県 多田 紗耶加さん

# ふしぎなたけ

ふしぎなたけ

ただ さやが

わたしのおばあちゃんがつんでいるがもし  
まちまちはたげがたくさんはえていきます。

山のちがくやよしの川のちがくにも、こりし  
たくさんはえていきます。さいしーはわかるとな

かつたけどながさうちがうあしといこうこの  
さんがついているたけという木をあばあちゃ

んがおしえてくれたよ。

おじいちゃん山へ行ってたけをきって大

さやがこりでこりにしてきます。このこはは

ふしぎなたけです。まはんをつくった

このこにまぜるとはなやかさいをつくと

さのひりうになるそうです。おこめをつく

るとさよこのこなをたんぽにたくさんまくし

おいしいおこめがとれるそうです。いちどた  
けのこなでたてたおこめをたべたいとおも  
います。

また、ちくさいーとつたけがらとれるお

かがあってこのみずをうらぐらぐらとよりおすの  
だれうです。このみずがこぼせつけんもでさる  
ようです。このせつけんはあわがたはなけ  
ともつておぼくよーれがおらでにんげんのつ  
らだにいいのだえうです。

わつちみずにはいってまぐにおげあやん  
のいえで「ちくし」というたけがらみもつ  
くりました。一めんうんみおにつけてくさら  
せれたけをたたりとせんいあちりたくして、

まづにとつしてさのぬくにあみをほったぞう

ぐですく、かわきをくります。さいしよは

むかはがじようおにたまをんでしたが、な

んがりがするうちにされいひかみかでままし

た。みずのむかのたけをまくこのかじよこつ

にでまはないとあついかみになつたり、うすい

かみにかつたりします。みずにとけてるたけ

をまく、たあと、そのさわくをひはたてはし  
てすこしかわいたらひかげにおいてかあかし  
ました。文れくにかわいたらばしかうらびニセ

ットでつくりはがしました。はがすとさや

おあでであらあげながら三ーんちをはがすと  
にドキドキしなげははがしました。いぶん  
すいたおにぬのぐでえちがいたりじをか  
てたのしおました。まじしろでないすこし  
すいさりのみかおはがようしてはあやうかん  
じてよかつたです。

たけというとあたまはかぐやみめのあのが  
たりちおといせしをした。かぐやみめがうま  
れたたけでりちりちたこがでえちんたごび  
つくりました。たけびりりちりちあせしたち

のせりかつやくにたつたたしりましと

ら。てち。とたけのこをせりたいたいとおも  
います。

Blank writing area for the student's text.



愛媛県 近松 叶さん  
時代をこえて

時代をこえて  
近松 叶

私は、夏休みに愛ひめのれきしについて書かれた本で、大山すみ神社にあるじゅれい三千年のくすの木の事を知りました。三千年前と言えば、じょう文時代で、毛皮を着て、石の弓や矢でかりをして たてあな住まよに任せていたころ。そんな昔から今まで生き続けているなんて、想ぞうあつませせん。どうして、お会いに行きたくなりました。お母さんにその事を伝えると、話にのって、くれて、コロナかではあるけど、大三島まで舟なで行って大山すみ神社で、「コロナがなくなりませう」とおいのりして、天然記念物にもなっているすこい木を見て、「よう」という事になりました。せみがうるさいぐらいに鳴いているカンカンでりの日曜日、おじいちゃん、おばあちゃん、いつもは仕事のお父さん、お母さん、妹二人の七人で、車に乗って行きました。たいてい車でおでかけすると車よいでするので少し

心配だったけど、みんなでワイワイ話したり歌を歌ったりしていたら、あつという間に車からおりて念がんのくすの木と会える。ドキドキしながら、足早に木の所まで行きました。でも思った木と全くちがって、三千年前のジャックと豆の木みたい。天までとどきそうな高さか高く、みきむむこうかお見えないうつ、といのはないかと思、ていたのに、色んな所からこいて、はいあながあいていました。大きさは想ぞうより小すか、たけど、緑の葉っぱはおいしげり、たしかに生きていました。木にあるぎは、生きてきた人章で、どうどうと生き様を見せつけてくれている様に見えるました。木は、会いにいって私に「よく来たね」と、語りかけてくれているように感じました。そこから少しはなれた所に、いききのつもと人という根元から二本のみきか出ているく

すの木もありました。人が通れるほどの大きな空どうが開いて、その中には石たんがあらりました。そこをくぐって参拝するのですが、ひっそりとしていて人気がなく、くぐってしまふとむかしの時代につれていかれそう、足かすくんでしまっていました。まずお父さんにくぐってもらいました。小さなあなで通りぬくそうだったけど、たけと大じょうふな事をたしかめて次は私です。一足ふみいれるとちよとかがびくさい古い木のおいかしました。元の石の階段もかが夕が夕でつまづきそうでした。でもそんな木や石のすまに遠いむかしの空気を感しました。今まお何人の人が、どんな思いでこの門をくぐって来たのだろうと、私おくりぬけたのは今日初めてではないうきさえしてました。帰りは木について色々話しました。木は私をば人想の世界にしよう待してくれました。木は私に、「タイムマシンとなりました。」

低学年の部

中国・九州・沖縄

ブロック

アカマツ賞

岡山県 矢野 みやびさん

# 木のあるじごととおとうさん

木のあるじごととおとうさん  
やのみやび  
わたしのおとうさんは、こうむ  
店のしごとをしています。おとう  
さんは、おきやくさんとうちあわ  
せをしたり、いえのずめんを書い  
たり、げんばでおうちをつくった  
り、木にかんするしごとをいろい  
ろしています。  
おとうさんがつくるおうちは、  
木のおうちで、せいのがいいの  
で、夏はすずしくて、ふゆはあた  
たかくすごせます。でん気だいま  
あんまりかからないでかんきう  
にやさしいです。  
おとうさんはまい日いそがしく

て、いえにいろ時間もすくかく、  
あまりあそびにいけません。でも  
おうちをたてることでしあわせに  
なっている人がいると思うとうれ  
しいです。  
今はコロナがはやっていて、い  
えですごす人がふえています。か  
いてきにすごせるおうちをいっば  
いつくってみんなをしあわせにし  
てほしいです。



# 審査員の講評



イラストレーター

はせがわゆうじ氏

今年も優秀な作品がたくさん集まりました。木や木の家、木の家具や道具など、木というあたかみのあるモチーフに様々な人間模様を感じさせていただきました。

おじいちゃんの分身のような本棚に大好きな本を入れて、おじいちゃんに読んでもらっているみたいと思う「ヒマラヤスギの木」。おじいちゃん読んでくれるかなあ。

「金」ではなく「木」のメダルをがんばったおとうさんにあげたい「おとうさんのくつ下の木くず」。このおとうさんにはきつと木のメダルが一番ですね。

この木の下にいとみんが自然と笑顔になり怒る人はいないという「二本のうめの木」。読んでるこちらもなんだか幸せな気持ちになりました。

どんぐり銀行ってほんとにあるんですね。とつても素敵なプロジェクトを教えてください「どんぐりの木」。

ほのぼのとした文体でおなかもおにしてくれる「もものき」。

おかあさんがなぜ木のまな板を大切にしているのかがよくわかる「心地よい響き」とは。道具を大切に使い続けるおかあさんの気持ちがよく伝わります。

辛いことを一緒に乗り越えて来たからこそ特別な想いがある木の椅子の「木がつなぐ素敵な未来」。ぜひ未来のお子さんにも座らせてあげてください。い。

空に向かって伸びている木々と同じくらいの根が、大地を抱きしめている……この表現に心が揺さぶられた「見えない力」。この作者さんは将来、大作家さんになるかもしれないと予感させられました。

校庭の中の日々がとつても充実して楽しそうな「大切にしたいぼくらの校庭」。自然とバランスよく共生出来るつてすばらしいです。

「東京オリンピックピックと日本の木」は競技場などに使われている木の性質や特徴をよく調べて研究されています。海外から見た日本の良さのひとつは木造なのでしょね。

ここには書ききれませんが、他の作品もみんなそれぞれ優秀で素敵でした。今はこんな世の中ですが、子供たちの作文を読んでいるとなんだか励まされます。社会にまみれて忘れかけている何かを思い出させてくれるからかな……と思います。



南雲国語教室主宰

南雲 ゆりか氏

審査会では、内容、表現に新鮮味や独自性のある作品が高評価を得ました。

「ヒマラヤスギの木」は、気持ちの表現に個性がありました。おじいちゃんの生まれたときに植えたヒマラヤスギが倒れてしまった悲しみを「家にもわも泣いているみたい」と書きます。でも、それが本棚に生まれかわると「おじいちゃんがかえってきたみたい」で、「おじいちゃんがわたしのすきな本を読んでくれているみたいでうれしい」と表現しています。こんなふうに、天国のおじいちゃんを近くに感じられるのはすてきですね。

次に、校庭のピワを食べる楽しい場面から始まる、「大切にしたいぼくらの校庭」。「つまみ食い。」「大好評。」などの名詞止めが歯切れよく、いかにもやんちゃな雰囲気です。校庭を里山になぞらえているのも、おもしろ

ろい見方だと思いました。

「木がつなぐ素敵な未来」は、静かな文章の中に温かい母娘愛があふれていました。「高学年なのに頭をなでられるのははずかしい」といいながらも、命がけで産んでくれたお母さんの気持ちを受け止めます。「私も母のようにぬくもりがある木のいすに子供の成長を重ね、いすをなでる日が来るだろう」という結びに、ほろりとさせられました。

それから、「どんぐりの木」。未来の森のために「わたしでもできる活どうをやつていきたい」という言葉は、ジャン・ジオノの『木を植えた男』（どんぐりを植えて森をつくる物語）を思わせます。子どもたちが一心に拾い集めたどんぐりが、全国で森へと育っていく……胸が熱くなりました。

木の家や木製品への愛着、お父さんの仕事への誇り、木や自然への愛情など、それぞれの思いのこもった読み応えのある作品が、他にもたくさんありました。ひとりひとりに感想とお礼をお伝えできないのが残念です。みなさんの作文を読みながら幸せな時間を過ごしました。ありがとうございました。



国土交通省 住宅局 住宅生産課

木造住宅振興室長

前田 亮氏

入選した小学生のみなさん、大変おめでとうござります。生き生きとした手書きの文字や、消しゴムで消して黒くなった跡を見て、原稿用紙にむかつて鉛筆で二文字一文字、一生懸命書いているみなさんの姿を思い浮かべながら、楽しく読ませていただきました。

低学年の部の国土交通大臣賞受賞作は、「ひいおじいちゃんをつつたいえ」です。大工のひいおじいちゃんがつくった家、思い出いっぱいの家、阪神・淡路大震災でも生き残った家、そんな大好きな家が周りの開発に伴って取り壊されてしまう。自分が遊んでいた思い出の木の品も持っていかれて悔しいけど、新しい持ち主のもとで使ってもらえる、自分も大事につないでいく

と考え直す。一人の小学生が、大好きな家の取り壊しという事態に直面して、心が揺れ動きながらも、前向きになって成長していく、感動さえ覚える作品です。

高学年の部の国土交通大臣賞受賞作は、「大工さんに教わったこと」です。建設途中の家の木の香り、木のけずりかすのさわり心地、それとともに、大工さんがやさしく接してくれたこと、完成したら見えなくなる柱に名前を書かせてもらったこと、大工さんが自分たちのために一生懸命作業してくれたことなど、5年前の記憶が、鮮明に、みずみずしく表現されています。木の家が大工さんの熱意や思いやりで作られていることを感じた作者が、自分の家を好きになり、また、自分も周りの人を幸せにしたいと思う。街で見かける一軒一軒の家にこのような作り手や住む人の思いが詰まっているのかな、と幸せな気持ちにさせてもらえる作品です。

このほかの作品についても、木や自然、木で作られた身近なものなどについて、小さな気づきを丁寧に掘り下げ、自分なりに考えて表現されており、いずれも個性豊かで素晴らしい作品ぞろいでした。来年も小学生のみなさんの素晴らしい作品と出会えることを期待しております。



独立行政法人 住宅金融支援機構

マンション・まちづくり支援部 技術統括室長

嘉藤 鋭氏

まわりにある木のことを作文した作品を、全国から数多く応募していただきました。誠にありがとうございました。皆さまの作品を読んでいくと、皆さまの思いにどんどん引き込まれ、その情景が鮮明に頭に浮かび、とても暖かい気持ちになりました。いずれの作品も力作で素晴らしい作品ばかりでした。

低学年の部の住宅金融支援機構理事賞「まきストーブのあるくらし」は、お父さんがまきを一所懸命に準備する姿と、その作業を手伝う情景を見

事に描いています。アリとキリギリスの話しを引用して何でこんな面倒なことをしているのか、また、まきストーブで木をどんどん燃やすことに疑問を持ったことを上手に表現しています。お母さんの気持ちやお父さんの説明を聞いて疑問の答えをしつかり受け止め、山を大切にすることにも理解を深めています。このように、木とともに暮らしていきたいと願う、木のある幸せな暮らしを描いた素晴らしい作品です。

高学年の部の住宅金融支援機構理事長賞「家族を見守る大きな木」は、祖父の家に行った時、祖父の家の庭の大きな木、ハナミズキの存在を見事に描写し、祖父が木を大切にしている思いが伝わってきます。小さいときに泣いたりすると抱っこしてその木と一緒に見ていた母の思い出や母が大事にしている写真に祖母と庭の木が写り、祖母の膝の上に抱っこされ、その周りに祖父、両親、叔母、叔父の優しい笑顔が溢れているエピソードは、木と家族の関係が深いことを丁寧に表現しています。このように、祖父の庭の大きなハナミズキを通じて、家族が繋がっていることを描いた素晴らしい作品です。

作文は、作文用紙を通じて作者の思いが読者に伝わります。用紙に書かれた文字一つ一つが作者の思いを届け、感動を与えてくれます。素晴らしい作文を、これからも書き続けてください。素敵な感動をみんなに届けることを期待しています。



朝日学生新聞社  
取締役営業担当兼 大阪支社長  
今澤 勇氏

新聞記者もかおまけの取材力・観察力・表現力。

聞いたこと、調べたこと、感じたこと、さまざまな体験を通じてみなさん多くのこと学びながら、それらを作品の中にとってもいきいきと表現していました。どの作品も木のある暮らしの中の日常を、みずからの視点で丁寧に切り取った力作ばかりでした。

低学年の部の朝日学生新聞社賞「おとうさんのくつ下の木くず」は、木でドアを作るお父さんの仕事にまつわる家族のさりげないやりとりが描かれています。木のかおりやざらざら・ちくちくする木くずの風合いが、読んでいて直接伝わってくるようでした。お父さんの仕事を誇りに思い、感謝する気持ち。「私が大きくなったらおとうさんに木でできたメダルをあげたいです」。東京オリンピックピックの金メダルに負けたくないくらい、とても素敵な心のもった最高の「木のメダル」ですね。

高学年の部の朝日学生新聞社賞「心地よい響きとは」は、「まな板」をめぐってお母さんとのエピソードです。母の日に白い樹脂製のまな板をお母さんにプレゼントします。でもなぜか使ってくれません。お母さんが長く愛用しているヒバのまな板にこだわる理由とは？親子の思いやりや戸惑いの複雑な心情が見事に表現されています。ストーリーの展開もスムーズで、「トントン」と心地よいまな板の響きを感じながら楽しく読みました。

今回の学生新聞社賞の2作品はともに木と家族の物語でした。家族の想いが「木くず」や「ヒバのまな板」を介してつながっていききました。どのような時代でも、木のぬくもりは人の心をいやしてくれれます。受賞作に限らず、どの作品も思いやりや愛情あふれるものばかりで、審査をしながらも、とても心温まる思いがしました。

受賞されたみなさん、おめでとうございます。応募されたすべてのみなさんに感謝申し上げます。



一般社団法人日本木造住宅産業協会 専務理事  
越海 興一氏

今年も素晴らしい作文がいっぱい届きました。応募いただいた小学生の皆さん、夏休み中よく頑張りました！そして受賞者の皆さん、本当におめでとうございます。多くの先生方の御理解御賛同を得て、学校教育の場に本コンクールを採り入れていただき感

謝申し上げます。

じっくり読ませていただくと、想ったより活発で行動的な内容の作品が多く、コロナ禍でも屋外で自然とふれあう機会の創出に努力されている保護者の皆様方に敬意を表します。健やかな成長とともに社会変化にもバランス良く適応し、情報技術の進展で広がるネット環境と、人や自然を実感するリアル環境と、それぞれの長を上手に利用して時代の先端を走る子供たちの将来に大いに期待しております。

さて、カーボンニュートラル政策において、住宅や建築物をはじめ木材の幅広い活用に対し二酸化炭素の貯蔵効果が注目を集めています。山の樹木を切り出した後に植林しなければ、森林資源の循環利用とは言えません。応募いただいた皆さんは、種蒔きや植林、間伐、伐採から製材まで、そして木の家や家具、木製品に様々な「木のある暮らし」を見出し、それぞれ子供らしい素直な感性で生き生きと文章表現してくれました。この次は、是非ほかのお友達の商品も読んで、「木のある暮らし」で循環利用の「輪」をつなげてみてください。自分を含めた大きな「輪」は、日本文化を象徴する「和」にも通じる考え方です。

今年から新しく、毎年10月は「木材利用促進月間」となり、全国規模で「木づかい運動」「ウッド・チェンジ」など従来に増して活発な運動が展開されます。その一翼を担って、木住協の会員は、樹木の成長から伐採まで50年以上かかる循環に見合う長持ちする木造住宅の建設に取り組んでおります。引き続き、木を題材とする環境教育として本コンクールを協会あげて応援してまいります。

最後に、本コンクールにご後援をいただきました国土交通省、農林水産省、文科科学省、環境省、外務省、住宅金融支援機構、朝日学生新聞社、ならびに教育委員会はじめ学校関係の皆様、ご協力いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます、また来年の応募をお待ちしております。

## プロフィール

■はせがわゆうじ イラストレーター

名古屋生まれ。名古屋芸術大学卒。広告や出版のイラストを幅広く手がける。東京書籍国語教科書表紙、名古屋市母子手帳表紙、NHKみんなのうたアニメーションなど色鉛筆でほのぼのとした優しいタッチのイラストレーションで知られる。最近ではパンダをペン画で描くキャラクターぱんだもんでLINEスタンプ、ポストカード、その他様々なグッズを展開中。著書に「ベンジヤミンの空」(サンリオ)他。朝日小学生新聞連載中。

■南雲ゆりか(なぐもゆりか) 南雲国語教室主宰

東京生まれ。横浜国立大学教育学部卒。横浜市立小学校教諭を経て大手進学塾へ。難関クラス指導と模試・教材の作成を担当した。都内で国語教室を主宰し、「正確に読む力、正確に伝える力」を motto に指導にあたっている。朝日新聞EduA「国語のチカラ」読解力・表現力の基本のき」連載中。著書に『名探偵コナンの12才までに身につけたい本物の漢字カード26字』(小学館)、「考える力がつく」『国語』勉強法(ダイヤモンド社)など。

■前田亮(まえたりょう) 国土交通省 住宅局住宅生産課 木造住宅振興室長

■嘉藤 鋭(かとうさとし) 独立行政法人 住宅金融支援機構 マンション・まちづくり支援部 技術統括室長

■今澤 勇(いまだわいさむ) 朝日学生新聞社 取締役営業担当兼大阪支社長

■越海興一(こしづみこういち) 一般社団法人日本木造住宅産業協会 専務理事

# 作文コンクール オンライン表彰式



木住協  
越海専務理事



はせがわゆうじ  
審査員長



国土交通省  
宿本課長



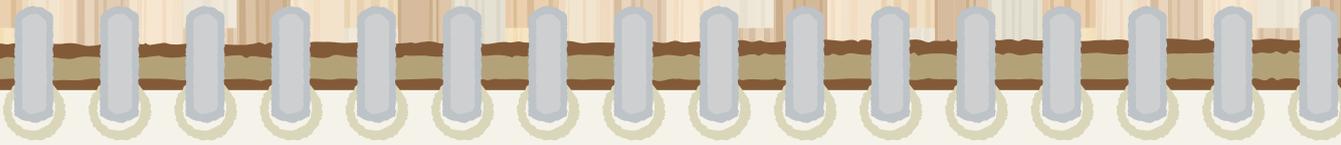
木住協  
市川晃会長



バーチャルスタジオとMC



リモート参加した受賞者の皆さん全員集合 スクリーンショット記念撮影



※画像は矢野様から提供いただいております



国土交通大臣賞高学年の部 矢野 有花さん  
「大工さんに教わったこと」朗読動画



※画像は田中様から提供いただいております



国土交通大臣賞低学年の部 田中 波音さん  
「ひいおじいちゃんのつくったいえ」朗読動画



受賞者インタビューの様子

オンライン表彰式の様子は  
協会ホームページから動画でご覧いただけます。▶

<https://www.mokujukyo.or.jp>

# 参加学校一覧



## 茨城県

いわき市立汐見が丘小学校  
会津美里町立新鶴小学校  
本宮市立糠沢小学校  
会津坂下町立坂下南小学校  
田村市立常葉小学校  
いわき市立小名浜第一小学校  
会津若松市立東山小学校  
会津若松市立河東学園小学校  
矢吹町立矢吹小学校  
桜川市立大国小学校  
阿見町立阿見小学校  
常陸太田市立世矢小学校  
石岡市立東成井小学校  
鉾田市立上島西小学校  
土浦市立下高津小学校  
常陸太田市立里美小学校  
坂東市立弓馬田小学校  
石岡市立恋瀬小学校  
ひたちなか市立勝倉小学校  
つくば市立柳橋小学校  
桜川市立岩瀬小学校  
リリーベール小学校  
結城市立結城小学校  
水戸市立五軒小学校  
筑西市立古里小学校  
つくばみらい市立谷原小学校  
石岡市立南小学校  
筑西市立嘉田生崎小学校  
常陸太田市立金砂郷小学校  
筑西市立大田小学校  
筑西市立河間小学校  
常陸太田市立久米小学校  
水戸市立河和田小学校  
日立市立大久保小学校  
坂東市立神大妻小学校  
古河市立古河第二小学校  
常陸太田市立郡戸小学校  
かすみがうら市立霞ヶ浦南小学校  
龍ヶ崎市立八原小学校  
筑西市立下館小学校  
常総市立玉小学校  
小美玉市立堅倉小学校  
水戸市立稲荷第一小学校  
日立市立坂本小学校  
水戸市立吉沢小学校  
水戸市立上中妻小学校  
神栖市立大野原小学校  
日立市立久慈小学校

## 福島県

相馬市立大野小学校  
猪苗代町立猪苗代小学校  
南相馬市立高平小学校  
須賀川市立長沼小学校  
郡山市立西田学園義務教育学校  
中島村立滑津小学校  
会津若松市立一箕小学校  
郡山市立行徳小学校  
二本松市立旭小学校  
伊達市立月舘学園  
白河市立五箇小学校  
いわき市立錦東小学校  
郡山市立高倉小学校  
福島市立杉妻小学校  
三春町立三春小学校  
福島市立大森小学校  
郡山ザベリオ学園小学校  
棚倉町立近津小学校  
桜の聖母学院小学校  
いわき市立四倉小学校  
本宮市立本宮まゆみ小学校  
南会津町立田島小学校  
会津若松市立城南小学校  
泉崎村立泉崎第一小学校  
福島市立南向台小学校  
福島市立庭坂小学校  
会津美里町立高田小学校  
南相馬市立太田小学校  
福島市立森合小学校  
平田村立蓬田小学校  
福島市立水保小学校  
郡山市立大槻小学校  
会津坂下町立坂下東小学校  
喜多方市立第二小学校  
いわき市立永崎小学校  
郡山市立芳山小学校  
いわき市立平第二小学校  
白河市立表郷小学校  
いわき市立植田小学校  
福島市立佐原小学校  
本宮市立和田小学校  
福島市立笹谷小学校  
西郷村立熊倉小学校  
西郷村立小田倉小学校  
いわき市立川部小学校  
いわき市立平第四小学校  
矢吹町立善郷小学校  
須賀川市立第一小学校

## 北海道

美瑛町立明德小学校  
愛別町立愛別小学校  
富良野市立扇山小学校  
石狩市立厚田学園  
比布町立中央小学校  
江別市立対雁小学校  
北海道帯広盲学校

## 青森県

八戸市立種差小学校  
弘前市立朝陽小学校  
八戸市立西白山台小学校

## 岩手県

滝沢市立柳沢小学校

## 宮城県

聖ドミニコ学院小学校  
大崎市立沼部小学校  
ホライゾン学園仙台小学校  
大崎市立田尻小学校  
仙台市立連坊小路小学校  
石巻市立万石浦小学校  
川崎町立川崎小学校  
石巻市立向陽小学校  
宮城教育大学附属小学校  
気仙沼市立九条小学校  
多賀城市立多賀城八幡小学校  
石巻市立北村小学校  
大和町立小野小学校  
山元町立坂元小学校  
富谷市立富谷小学校  
大衡村立大衡小学校  
白石市立白石第一小学校  
涌谷町立月将館小学校

## 秋田県

鹿角市立大湯小学校  
秋田県立視覚支援学校(小学部)

## 山形県

山形市立高瀬小学校  
東根市立東根小学校  
山形市立西山形小学校  
米沢市立愛宕小学校  
鶴岡市立豊浦小学校  
寒河江市立寒河江中部小学校  
天童市立長岡小学校  
天童市立成生小学校  
山形市立第一小学校  
東根市立東根中部小学校  
米沢市立興讓小学校  
酒田市立琢成小学校  
山形市立本沢小学校  
天童市立山口小学校  
山形市立千歳小学校

## 福島県

二本松市立渋川小学校  
福島市立瀬上小学校

杉戸町立高野台小学校  
さいたま市立辻小学校  
久喜市立久喜小学校  
さいたま市立鈴谷小学校  
川口市立十二月田小学校  
川口市立慈林小学校  
久喜市立東鷲宮小学校  
越谷市立大間野小学校  
春日部市立八木崎小学校  
さいたま市立大久保小学校  
幸手市立上高野小学校  
春日部市立牛島小学校  
越谷市立新方小学校  
熊谷市立熊谷西小学校  
行田市立泉小学校  
深谷市立榛沢小学校  
幸手市立さくら小学校  
入間市立西武小学校  
さいたま市立大砂土小学校  
春日部市立幸松小学校  
川越市立芳野小学校  
鴻巣市立吹上小学校  
川越市立今成小学校  
川越市立上戸小学校  
三郷市立新和小学校  
川越市立月越小学校  
越谷市立越ヶ谷小学校  
戸田市立新曾小学校  
所沢市立牛沼小学校  
和光市立北原小学校  
鴻巣市立田間宮小学校  
三郷市立丹後小学校  
熊谷市立玉井小学校  
深谷市立花園小学校  
川越市立霞ヶ関小学校  
志木市立宗岡第三小学校  
春日部市立中野小学校  
行田市立東小学校  
羽生市立新郷第二小学校  
千葉市立高浜海浜小学校  
千葉市立誉田東小学校  
千葉市立小中台南小学校  
千葉市立蘇我小学校  
千葉市立川戸小学校  
国府台女子学院小学部  
市原市立白金小学校  
千葉市立更科小学校  
千葉市立稲毛小学校  
いすみ市立東海小学校  
千葉市立鶴沢小学校  
市川市立稲荷木小学校  
船橋市立高根台第二小学校  
千葉市立上の台小学校  
千葉市立千城台みらい小学校

千葉県

高崎市立東部小学校  
甘楽町立福島小学校  
草津町立草津小学校  
前橋市立桃瀬小学校  
榛東村立北小学校  
前橋市立城東小学校  
安中市立西横野小学校  
前橋市立時沢小学校  
東吾妻町立太田小学校  
安中市立原市小学校  
前橋市立石井小学校  
太田市立駒形小学校  
伊勢崎市立北小学校  
藤岡市立美九里西小学校  
太田市立沢野中央小学校  
みどり市立笠懸小学校  
太田市立南小学校  
前橋市立原小学校  
明和町立明和西小学校  
前橋市立宮城小学校  
大泉町立北小学校  
太田市立城西小学校  
富岡市立小野小学校  
東吾妻町立原町小学校  
大泉町立西小学校  
みどり市立笠懸東小学校  
太田市立沢野小学校  
大泉町立東小学校  
安中市立細野小学校  
甘楽町立新屋小学校  
高山村立高山小学校

埼玉県

さいたま市立大砂土東小学校  
本庄市立金屋小学校  
さいたま市立見沼小学校  
川越市立南古谷小学校  
さいたま市立北浦和小学校  
白岡市立白岡東小学校  
上尾市立尾山台小学校  
飯能市立加治東小学校  
熊谷市立妻沼南小学校  
北本市立南小学校  
戸田市立戸田第一小学校  
春日部市立上沖小学校  
草加市立新田小学校  
ふじみ野市立東台小学校  
伊奈町立小室小学校  
皆野町立三沢小学校  
さいたま市立指扇北小学校  
さいたま市立上里小学校  
所沢市立林小学校  
熊谷市立長井小学校  
深谷市立深谷西小学校  
鴻巣市立鴻巣東小学校  
本庄市立旭小学校

那珂市立瓜連小学校  
水戸市立浜田小学校  
神栖市立須田小学校  
龍ヶ崎市立馴馬台小学校  
ひたちなか市立那珂湊第一小学校  
水戸市立千波小学校  
古河市立釈迦小学校  
笠間市立大原小学校  
笠間市立みなみ学園義務教育学校  
鹿嶋市立豊郷小学校  
筑西市立関城東小学校  
常陸太田市立西小沢小学校  
水戸市立城東小学校

栃木県

宇都宮市立ゆいの杜小学校  
鹿沼市立清洲第一小学校  
宇都宮市立西小学校  
宇都宮市立石井小学校  
大田原市立石上小学校  
宇都宮市立宝木小学校  
宇都宮市立桜小学校  
日光市立大桑小学校  
日光市立今市小学校  
宇都宮市立城東小学校  
上三川町立北小学校  
宇都宮市立白沢小学校  
宇都宮市立清原東小学校  
日光市立落合東小学校  
那須塩原市立南小学校  
宇都宮市立田原西小学校  
真岡市立長田小学校  
足利市立南小学校  
那須塩原市立鍋掛小学校  
宇都宮市立岡本北小学校  
渋川市立伊香保小学校  
安中市立秋間小学校  
太田市立毛里田小学校  
伊勢崎市立南小学校  
前橋市立元総社南小学校  
安中市立安中小学校  
富岡市立額部小学校  
太田市立宝泉小学校  
高崎市立寺尾小学校  
高崎市立堤ヶ岡小学校  
高崎市立新高尾小学校  
沼田市立沼田北小学校  
太田市立宝泉東小学校  
高崎市立箕輪小学校  
吉岡町立明治小学校  
玉村町立芝根小学校  
前橋市立粕川小学校  
高崎市立塚沢小学校  
みどり市立大間ヶ北小学校  
高崎市立佐野小学校  
吉岡町立駒寄小学校

群馬県

逗子市立沼間小学校  
川崎市立平小学校  
横浜市立南瀬谷小学校  
横浜市立中田小学校  
横浜市立境木小学校  
横浜市立奈良小学校  
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校  
平塚市立大原小学校  
横浜市立小机小学校  
平塚市立八幡小学校  
南足柄市立福沢小学校  
湯河原町立湯河原小学校  
横浜市立日限山小学校  
逗子市立池子小学校  
横浜市立上大岡小学校  
平塚市立山下小学校  
横浜市立上末吉小学校  
横浜市立杉田小学校  
横浜市立綱島小学校  
横浜市立大鳥小学校  
神奈川県立平塚盲学校

### 新潟県

長岡市立岡南小学校  
長岡市立太田小学校  
長岡市立深沢小学校  
糸魚川市立大野小学校  
村上市立瀬波小学校  
長岡市立青葉台小学校  
糸魚川市立南能生小学校  
新潟市立東青山小学校  
上越市立保倉小学校  
上越市立牧小学校  
粟島浦村立粟島浦小学校  
長岡市立栖吉小学校  
五泉市立川東小学校

### 富山県

富山市立上条小学校  
入善町立上青小学校

### 石川県

金沢市立湯涌小学校

### 福井県

鯖江市立片上小学校  
坂井市立加戸小学校  
福井市立本郷小学校  
福井市立円山小学校  
鯖江市河和田小学校  
福井市立中藤小学校  
坂井市立長畝小学校  
永平寺町立御陵小学校  
大野市立有終東小学校  
勝山市立荒土小学校  
福井市立河合小学校  
福井市立豊小学校  
勝山市立平泉寺小学校  
福井市立殿下小学校  
福井市立東藤島小学校  
坂井市立春江小学校  
南越前町立南条小学校

### 東京都

習志野市立大久保東小学校  
習志野市立香澄小学校  
市川市立平田小学校  
国分寺市立第三小学校  
府中市立府中第六小学校  
渋谷区立加計塚小学校  
神津島村立神津小学校  
中野区立中野第一小学校  
世田谷区立松沢小学校  
世田谷区立玉堤小学校  
町田市立町田第二小学校  
東京創価小学校  
板橋区立下赤塚小学校  
府中市立府中第三小学校  
日野市立日野第四小学校  
小中一貫校 大南学園第七小学校  
多摩市立東寺方小学校  
板橋区立蓮根第二小学校  
北区立浮間小学校  
日野市立潤徳小学校  
品川区立八潮学園義務教育学校  
青梅市立成木小学校  
江東区立浅間野川小学校  
江東区立毛利小学校  
大島町立さくら小学校  
東京学芸大学附属世田谷小学校  
新宿区立市谷小学校  
江東区立数矢小学校  
江東区立枝川小学校  
日本聾話学校

### 神奈川県

厚木市立小鮎小学校  
海老名市立上星小学校  
横浜市立今井小学校  
相模原市立谷口台小学校  
相模原市立鹿島台小学校  
横浜市立小山台小学校  
川崎市立大谷戸小学校  
相模原市立共和小学校  
横浜市立港北小学校  
川崎市立菅生小学校  
横浜市立青木小学校  
大和市立林間小学校  
横浜市立鳥が丘小学校  
横浜市立桂小学校  
横浜市立もえぎ野小学校  
川崎市立中野島小学校  
横浜市立山下小学校  
横浜市立今宿南小学校  
川崎市立千代ヶ丘小学校  
川崎市立小杉小学校  
横浜市立中尾小学校  
鎌倉市立深沢小学校  
横浜市立日枝小学校  
横浜市立桜台小学校

千葉市立都賀小学校  
松戸市立穂台小学校  
千葉市立都賀の台小学校  
我孫子市立我孫子第一小学校  
船橋市立田喜野井小学校  
勝浦市立勝浦小学校  
大網白里市立大網東小学校  
千葉市立幸町小学校  
千葉市立稲毛第二小学校  
千葉市立宮野木小学校  
千葉市立おゆみ野南小学校  
千葉市立磯辺小学校  
千葉市立作新小学校  
船橋市立薬円台小学校  
千葉市立仁戸名小学校  
千葉市立稲浜小学校  
我孫子市立我孫子第三小学校  
成田市立平成小学校  
野田市立山崎小学校  
野田市立川間小学校  
松戸市立東松戸小学校  
千葉市立松ヶ丘小学校  
柏市立手賀西小学校  
成田市立公津の杜小学校  
船橋市立宮本小学校  
栄町立竜角寺台小学校  
柏市立増尾西小学校  
千葉市立高浜第一小学校  
佐倉市立上志津小学校  
千葉市立花園小学校  
印西市立小倉台小学校  
木更津市立真舟小学校  
千葉市立草野小学校  
柏市立手賀東小学校  
酒々井町立酒々井小学校  
千葉市立真砂東小学校  
八千代市立勝田台南小学校  
千葉市立西小中台小学校  
佐倉市立井野小学校  
柏市立西原小学校  
柏市立中原小学校  
印西市立高花小学校  
柏市立柏第五小学校  
いすみ市立夷隅小学校  
千葉市立畑小学校  
九十九里町立豊海小学校  
市川市立大洲小学校  
浦安市立日の出小学校  
富里市立富里南小学校  
松戸市立馬橋小学校  
習志野市立東習志野小学校  
習志野市立谷津南小学校  
習志野市立袖ヶ浦西小学校  
我孫子市立我孫子第四小学校

草津市立草津第二小学校  
長浜市立長浜小学校  
草津市立矢倉小学校  
東近江市立山上小学校  
草津市立志津小学校  
東近江市立箕作小学校  
野洲市立祇王小学校  
守山市立吉身小学校  
東近江市立能登川東小学校  
東近江市立八日市南小学校  
大津市立比叡平小学校  
甲賀市立伴谷東小学校  
甲賀市立貴生川小学校  
甲賀市立油日小学校  
栗東市立葉山小学校  
湖南市立下田小学校  
大津市立志賀小学校  
大津市立瀬田北小学校  
長浜市立木之本小学校  
野洲市立野洲小学校  
甲賀市立佐山小学校  
大津市立大石小学校  
甲賀市立綾野小学校  
愛荘町立愛知川東小学校  
大津市立長等小学校  
長浜市立南郷里小学校  
守山市立物部小学校  
草津市立笠縫東小学校  
甲賀市立水口小学校  
ノートルダム学院小学校  
亀岡市立亀岡川東学園

京都府

大阪府

大阪市立長吉南小学校  
茨木市立東奈良小学校  
大阪市立十三小学校  
熊取町立中央小学校  
大阪市立西九条小学校  
大阪市立浪速小学校  
大阪市立高松小学校  
八尾市立北山本小学校  
大阪市立焼野小学校  
大阪市立長吉東小学校  
大阪市立長吉出戸小学校  
大阪市立小松小学校  
大阪市立五条小学校  
大阪市立大江小学校  
河内長野市立高向小学校  
大阪市立刈田小学校  
東大阪市立英田北小学校  
大阪市立磯路小学校  
堺市立さつき野小学校  
大阪市立春日出小学校  
大阪市立玉出小学校  
大阪市立伝法小学校  
大阪市立喜連小学校

静岡市立城北小学校  
静岡市立清水不二見小学校  
静岡市立清水庵原小学校  
静岡市立清水飯田小学校  
静岡市立清水三保第一小学校  
焼津市立東益津小学校  
浜松市立都田南小学校  
浜松市立豊岡小学校  
浜松市立伊目小学校  
浜松市立佐鳴台小学校  
浜松市立大平台小学校  
熱海市立第一小学校  
静岡市立清水有度第二小学校  
静岡市立井宮小学校  
常葉大学教育学部附属橘小学校

愛知県

静岡サレジオ小学校  
岡崎市立豊富小学校  
豊橋市立豊南小学校  
蒲郡市立中央小学校  
蒲郡市立塩津小学校  
蒲郡市立三谷東小学校  
岡崎市立梅園小学校  
蒲郡市立形原北小学校  
蒲郡市立三谷小学校  
新城市立東陽小学校  
蒲郡市立蒲郡東部小学校  
豊川市立天王小学校  
岡崎市立緑丘小学校  
蒲郡市立蒲郡南部小学校  
名古屋市立大高北小学校

三重県

豊田市立若林西小学校  
いなべ市立治田小学校  
多気町立勢和小学校  
松阪市立香肌小学校  
津市立香良洲小学校  
桑名市立大山田北小学校

滋賀県

東近江市立市原小学校  
草津市立常盤小学校  
彦根市立城北小学校  
彦根市立佐和山小学校  
彦根市立城陽小学校  
彦根市立稲枝東小学校  
近江八幡市立沖島小学校  
湖南市立菩提寺小学校  
野洲市立中主小学校  
東近江市立能登川南小学校  
甲賀市立伴谷小学校  
長浜市立永原小学校  
甲賀市立甲南第一小学校  
豊郷町立豊郷小学校  
東近江市立五個荘小学校  
長浜市立浅井小学校  
大津市立坂本小学校  
草津市立笠縫小学校

福井市木田小学校  
福井市立松本小学校  
福井県立福井東特別支援学校五領分教室  
都留市立旭小学校

山梨県

富士吉田市立明見小学校  
駿台甲府小学校  
丹波山村立丹波小学校  
富士吉田市立吉田西小学校

長野県

塩尻市立宗賀小学校  
才教学園小学校  
小布施町立栗方丘小学校  
岡谷市立長地小学校  
長野市立豊野西小学校  
長野市立共和小学校  
松本市立今井小学校  
松本市立旭町小学校  
中野市立中野小学校  
軽井沢町立軽井沢中部小学校  
下諏訪町立下諏訪北小学校  
長野市立川中島小学校  
川上村立川上第一小学校  
上田市立神科小学校  
長野市立戸隠小学校  
長野市立綿内小学校  
伊那市立東春近小学校  
松本市立梓川小学校  
岡谷市立上の原小学校  
東御市立祿津小学校  
長野市立芹田小学校  
長野市立信州新町小学校  
岡谷市立小井川小学校  
長野市立古里小学校  
大町市立大町西小学校(支援学級)

岐阜県

下呂市立竹原小学校  
岐阜市立長良東小学校  
岐阜市立長良小学校  
各務原市立鶺鴒第一小学校  
垂井町立府中小学校  
岐阜市立加納西小学校  
瑞穂市立中小学校  
中津川市立付知北小学校  
可児市立旭小学校

静岡県

下田市立下田小学校  
森町立飯田小学校  
富士宮市立富士根南小学校  
掛川市立原田小学校  
静岡市立清水穴原小学校  
静岡市立梅ヶ島小中学校  
磐田市立豊田北部小学校  
磐田市立豊田南小学校  
静岡市立清水岡小学校  
静岡市立伝馬町小学校  
静岡市立宮竹小学校  
浜松市立伊佐見小学校

岡山市立操明小学校  
岡山市立平島小学校  
岡山市立幸島小学校  
倉敷市立連島南小学校  
岡山市立芳明小学校  
岡山市立箕島小学校  
岡山市立旭操小学校  
玉野市立八浜小学校  
倉敷市立児島小学校  
倉敷市立本荘小学校  
岡山市立三門小学校  
備前市立伊部小学校  
岡山市立江西小学校  
倉敷市立琴浦北小学校  
倉敷市立第三福田小学校  
倉敷市立乙島東小学校  
倉敷市立上成小学校  
岡山市立中山小学校  
岡山市立南輝小学校  
倉敷市立長尾小学校  
美作市立英田小学校  
岡山市立第一藤田小学校  
岡山市立幡多小学校  
倉敷市立中島小学校  
岡山市立政田小学校  
倉敷市立玉島南小学校  
倉敷市立第二福田小学校  
岡山市立西大寺南小学校

#### 広島県

呉市立音戸小学校  
廿日市市立阿品台西小学校  
東広島市立郷田小学校  
広島市立原南小学校  
三原市立深小学校  
周南市立久米小学校  
下関市立小串小学校  
周南市立戸田小学校  
下関市立豊北小学校  
下松市立花岡小学校

#### 徳島県

佐那河内村立佐那河内小学校  
三好市立東祖谷小学校  
三好市立芝生小学校  
美馬市立穴吹小学校  
鳴門市第一小学校  
吉野川市立森山小学校  
徳島市内町小学校  
徳島文理小学校  
徳島市立国府小学校  
吉野川市立高越小学校  
三好市立山城小学校  
徳島市佐古小学校  
那賀町立相生小学校

#### 香川県

丸亀市立城坤小学校  
さぬき市立志度小学校  
高松市立新番丁小学校

姫路市立中寺小学校  
太子町立太田小学校  
姫路市立広畑第二小学校  
加古川市立野口北小学校  
加古川市立東神吉南小学校  
加古川市立平岡東小学校  
神戸市立本庄小学校  
市川町立瀬加小学校  
神戸市立桂木小学校  
神戸市立六甲アイランド小学校  
淡路市立一宮小学校  
川西市立川西小学校  
神戸市立渦が森小学校  
太子町立斑鳩小学校  
稲美町立天満東小学校  
高砂市立北浜小学校  
近畿大学附属小学校  
奈良市立平城西小学校  
奈良市立田原小学校  
生駒市立生駒南第二小学校  
生駒市立鹿ノ台小学校  
奈良市立飛鳥小学校  
奈良市立青和小学校  
大和高田市立高田小学校  
橿原市立畝傍南小学校  
上牧町立上牧第三小学校  
奈良市立大安寺西小学校  
大和高田市立磐園小学校  
橿原市立畝傍東小学校  
葛城市立新庄小学校  
曾爾村立曾爾中中学校  
橋本市立西部小学校  
橋本市立橋本小学校  
日高川町立山野小学校  
和歌山市立紀伊小学校  
和歌山市立雑賀小学校  
和歌山市立岡崎小学校  
智辯学園和歌山小学校  
岩出市立上岩出小学校  
岩出市立山崎小学校  
和歌山市立中之島小学校  
橋本市立三石小学校  
倉吉市立関金小学校  
隠岐の島町立都万小学校  
倉敷市立沙美小学校  
倉敷市立琴浦東小学校  
総社市立池田小学校  
倉敷市立味野小学校  
倉敷市立緑丘小学校  
倉敷市立倉敷東小学校  
岡山市立牧石小学校  
倉敷市立連島北小学校  
岡山市立第二藤田小学校  
岡山市立伊島小学校

#### 奈良県

#### 和歌山県

#### 鳥取県

#### 岡山県

大阪市立長居小学校  
八尾市立曙川東小学校  
大阪市立阿倍野小学校  
大阪市立東三国小学校  
河内長野市立長野小学校  
枚方市立西長尾小学校  
大阪市立築港小学校  
大阪市立玉造小学校  
東大阪市立立舎衛東小学校  
枚方市立氷室小学校  
大阪市立清水小学校  
大阪市立安立小学校  
大阪市立南恩加島小学校  
茨木市立玉島小学校(特別支援学級)

#### 兵庫県

加古川市立氷丘小学校  
姫路市立城北小学校  
姫路市立香呂南小学校  
姫路市立手柄小学校  
多可町立中町南小学校  
加西市立富田小学校  
姫路市立広畑小学校  
明石市立花園小学校  
姫路市立東小学校  
神戸市立北須磨小学校  
加古川市立尾上小学校  
神戸市立南落合小学校  
尼崎市立大島小学校  
姫路市立城陽小学校  
姫路市立高岡小学校  
姫路市立大津小学校  
姫路市立城乾小学校  
神河町立神崎小学校  
明石市立山手小学校  
姫路市立糸引小学校  
小野市立河合小学校  
神戸市立藤原台小学校  
高砂市立荒井小学校  
神戸市立泉台小学校  
姫路市立砥堀小学校  
神戸市立こうべ小学校  
神戸市立山田小学校  
神戸市立大沢小学校  
西宮市立東山台小学校  
姫路市立伊勢小学校  
姫路市立香呂小学校  
加西市立賀茂小学校  
加古川市立平岡小学校  
神戸市立千鳥が丘小学校  
神戸市立御影北小学校  
姫路市立花田小学校  
神戸市立福住小学校  
神戸市立小寺小学校  
神戸市立御影小学校  
明石市立魚住小学校

霧島市立宮内小学校  
 鹿児島市立宮川小学校  
 鹿児島市立紫原小学校  
 肝付町立高山小学校  
 鹿児島市立名山小学校  
 いちき串木野市市来小学校  
 鹿児島市立玉江小学校  
 志布志市立有明小学校  
 鹿児島市立八幡小学校  
 鹿児島市立松元小学校  
 鹿児島市立武小学校  
 鹿屋市立輝北小学校  
 鹿児島市立谷山小学校  
 湧水町立栗野小学校  
 霧島市立小野小学校  
 志布志市立志布志小学校  
 屋久島町立金岳小学校  
 曾於市立月野小学校  
 始良市立加治木小学校  
 和泊町立内城小学校  
 瀬戸内町立伊子茂小学校  
 鹿児島市立大明丘小学校  
 鹿児島市立桜丘西小学校  
 鹿児島市立東谷山小学校

**沖縄県**

豊見城市立座安小学校  
 うるま市立兼原小学校

**海外**

広州日本人学校 小学部  
 共益法人 フランクフルト日本人国際学校  
 オークランド日本語補習学校  
 立教英国学院  
 蘇州日本人学校  
 ホーチミン日本人学校

吉野ヶ里町立三田川小学校  
 佐賀市立循誘小学校  
 嬉野市立吉田小学校  
 鳥栖市立旭小学校  
 佐賀市立諸富北小学校  
 鳥栖市立鳥栖小学校  
 唐津市立相知小学校  
 諫早市立喜々津東小学校  
 雲仙市立神代小学校  
 佐世保市立港小学校  
 諫早市立御館山小学校  
 佐世保市立木風小学校  
 長崎南山小学校  
 長崎市立小島小学校  
 雲仙市立小浜小学校  
 対馬市立乙宮小学校  
 長崎市立小櫛小学校  
 諫早市立西諫早小学校

**長崎県**

**熊本県**

熊本市立日吉小学校  
 宇土市立宇土小学校  
 熊本市立花園小学校  
 南阿蘇村立南阿蘇西小学校  
 宇土市立花園小学校  
 水俣市立袋小学校  
 天草市立本渡南小学校  
 山鹿市立鹿本小学校  
 熊本市立高平台小学校  
 産山村立産山学園  
 あさぎり町立上小学校  
 南関町立南関第一小学校  
 天草市立栖本小学校

**大分県**

佐伯市立明治小学校  
 臼杵市立下ノ江小学校  
 日出町立日出小学校  
 大分市立大在小学校

**宮崎県**

椎葉村立尾向小学校  
 五ヶ瀬町立鞍岡小学校  
 延岡市立上南方小学校  
 日南市立榎原小学校

**鹿児島県**

南九州市立霜出小学校  
 鹿児島市立西伊敷小学校  
 南さつま市立阿多小学校  
 鹿児島市立喜入小学校  
 霧島市立小浜小学校  
 鹿児島市立花野小学校  
 南大隅町立神山小学校  
 さつま町立盈進小学校  
 鹿児島市立中山小学校  
 枕崎市立別府小学校  
 曾於市立岩川小学校  
 鹿児島市立西紫原小学校  
 始良市立重富小学校  
 始良市立始良小学校  
 霧島市立国分西小学校

**愛媛県**

今治市立常盤小学校  
 今治市立鳥生小学校  
 大洲市立平野小学校  
 今治市立波止浜小学校  
 大洲市立粟津小学校  
 大洲市立平小学校  
 西条市立小松小学校  
 大洲市立菅田小学校  
 松山市立久枝小学校

**高知県**

黒潮町立南郷小学校  
 南国市立十市小学校  
 高知市立朝倉第二小学校

**福岡県**

春日市立春日東小学校  
 筑紫野市立天拝小学校  
 北九州市立桜丘小学校  
 春日市立天神山小学校  
 北九州市立三郎丸小学校  
 太宰府市立太宰府西小学校  
 福岡市立賀茂小学校  
 春日市立大谷小学校  
 大牟田市立上内小学校  
 北九州市立足立小学校  
 福岡市立当仁小学校  
 太宰府市立太宰府南小学校  
 久山町立山田小学校  
 須恵町立須恵第三小学校  
 古賀市立小野小学校  
 古賀市立花見小学校  
 福岡市立原小学校  
 筑後市立筑後北小学校  
 北九州市立曾根東小学校  
 大野城市立大野北小学校  
 宇美町立桜原小学校  
 みやこ町立黒田小学校  
 北九州市立小石小学校  
 大野城市立大野南小学校  
 春日市立須玖小学校  
 北九州市立西門司小学校  
 大野城市立大野小学校  
 豊前市立宇島小学校  
 北九州市立貫小学校  
 北九州市立松ヶ江南小学校  
 北九州市立中井小学校  
 久留米市立大城小学校  
 古賀市立千鳥小学校  
 春日市立春日北小学校  
 大野城市立大和利小学校  
 北九州市立寿山小学校  
 春日市立春日南小学校  
 福岡市立東月隈小学校

**佐賀県**

佐賀大学教育学部附属小学校  
 佐賀市立勸興小学校  
 鹿島市立明倫小学校  
 武雄市立北方小学校

団体応募校を中心に掲載しています。  
 学校名については厳正に確認しておりますが、  
 万一間違いがあった場合はご容赦ください。

<https://www.mokujukyo.or.jp>

木住協

検索



一般社団法人

日本木造住宅産業協会

〒106-0032 東京都港区六本木1-7-27 全特六本木ビル WEST棟2階

電話 03-5114-3010(代) FAX 03-5114-3020

第24回「木のある暮らし」作文コンクール 入選作品集 ●2021年12月 ●編集・発行／一般社団法人 日本木造住宅産業協会 業務・広報部